

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

社会福祉運営事業

【 福祉総務課・生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 社会福祉事業の円滑な執行を支援するため。

効果 社会福祉の増進に寄与する。

【 事業の内容 】

- ・社会福祉事業全般の運営に係る経費を執行した。
- ・社会福祉事業全般に係る福祉総合システムの機器賃借料や保守に係る経費を執行した。
- ・社会福祉法人の設立、定款変更等の認可事務を行った。
- ・社会福祉法人の指導監査等を実施した。
- ・ポスターコンテストや講演会など、社会を明るくする運動事業を保護司会とともに行った。
- ・更生保護の仕事の従事している保護司会に対し、補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
43,132	40,526	39,945		581
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節	福祉総合システム等消耗品費	684	491	
13節	福祉総合システムソフトウェア保守委託料	8,722	8,476	
	社会福祉法人監査支援業務委託料	1,183	964	
	草刈業務委託料	36	0	
	緊急援護貸付事業委託料	330	309	
	番号制度対応福祉総合システム改修委託料	9,798	7,438	
14節	福祉総合システム機器賃借料	22,199	22,087	
19節	保護司会補助金	180	180	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			1,995

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

社会福祉協議会支援事業

福祉総務課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 鎌倉市社会福祉協議会

意図 地域福祉活動推進の要として、中心的役割を担う社会福祉協議会への助成を行うため。

効果 社会福祉協議会の財政基盤を安定させることにより、地域福祉の推進が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 社会福祉法の規定により地域福祉の推進を図る団体として組織されている社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会に補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
44,501	44,985	44,537		448

<支出内訳>

19節 鎌倉市社会福祉協議会補助金

当初予算額

44,501

支出済額

44,537

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

民生委員児童委員活動推進事業

生活福祉課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 民生委員等

意図 市の地域福祉の一翼を担う民生委員児童委員の活動を支援するため。

効果 地域福祉の増進が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 民生委員法及び児童福祉法に基づき委嘱された民生委員児童委員の活動を支援した。
- ・ 地域の福祉相談に応じ、行政機関と協力して地域のための活動をする民生委員児童委員の活動支援として協議会に補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
38,943	38,943	38,525		418
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
1節	民生総務嘱託員報酬 20人		3,672	3,672
	民生嘱託員報酬 203人		30,111	29,754
	民生委員推薦会報酬 4人		126	126
	事務補助嘱託員報酬 2人		2,056	2,056
9節	事務補助嘱託員等費用弁償		161	100
19節	民生委員・児童委員協議会補助金		2,817	2,817
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			14,311

戦傷病者戦没者遺族等援護事業

生活福祉課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
分野 健康福祉  
施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 戦没者の遺族、原子爆弾被爆者及び市民

意図 戦没者の追悼、原子爆弾被爆者に対する援護を通じ、平和を祈念するため。

効果 対象者の生活の援護や安定を目指し、福祉の増進を図る。

【 事業の内容 】

- ・戦没者の追悼式典を遺族等と行った。
- ・鎌倉市遺族会へ補助金を交付した。
- ・鎌倉市被爆者の会へ補助金を交付した。
- ・本市の援護資格者として認定を受けた市民に対して、援護手当を支給した。
- ・戦没者等の遺族への給付金等請求受付事務等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,256	4,256	3,889		367
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	戦没者追悼式参列者記念品等		190	186
11節	消耗品費		42	33
	印刷製本費		10	9
12節	筆耕翻訳料		3	2
13節	戦没者追悼式祭壇等設営業務委託料		60	60
	戦没者追悼式献花及び祭壇盛花設置業務委託料		238	238
19節	鎌倉市遺族会補助金		158	158
	鎌倉市被爆者の会補助金		75	75
20節	被爆者援護手当 133人		3,480	3,128
<主な特定財源>				
	・国県支出金			118

行旅病人死亡人援護事業

生活福祉課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 行旅病人、行旅死亡人等及び同伴者

意図 行旅病人等の救護等のため。

効果 行旅病人等の救護等を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 行旅病人の援護については、実績がなかった。
- ・ 行旅死亡人の火葬、官報公告、遺骨の保管等については、実績がなかった。
- ・ 「墓地、埋葬等に関する法律」第9条の規定に基づき、引き取り手のない遺体の取扱いを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,519	1,519	909		610
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	行旅死亡人遺骨保管謝礼		90	90
12節	行旅死亡人官報公告掲載料		31	0
13節	行旅死亡人移送及び火葬等業務委託料		466	0
	墓地埋葬法による遺体取扱委託料		932	819

中国残留邦人等支援事業

生活福祉課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 永住帰国した中国残留邦人等

意図 中国残留邦人等の生活の支援を行うため。

効果 中国残留邦人等の老後の生活の安定、地域での生き生きとした暮らしを実現する。

【 事業の内容 】

- ・中国残留邦人等で、世帯の収入が一定の基準に満たない者などがいなかったため、生活支援給付金を支給しなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10	10	0		10

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

20節 生活支援扶助費

10

0

生活困窮者自立支援事業

【 生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 生活に困窮した市民

意図 自立の促進を図るため。

効果 相談及び住居確保給付金の支援を受けることにより、自立を目指すことができる。

【 事業の内容 】

- ・ 就労の支援その他の自立に関する問題について、対象者に対する支援計画を作成し、必要な情報の提供及び助言を行った。
- ・ 再就職のため必要と認められる者に対し、住居確保給付金を支給した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,396	13,496	13,094		402
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
1節	住宅確保・就労支援員報酬 1人		1,556	1,555
9節	住宅確保・就労支援員費用弁償		111	91
11節	消耗品費		83	82
13節	生活困窮者自立相談支援事業委託料		8,721	8,721
	学習支援事業委託料		2,425	2,424
20節	住居確保給付金 単身世帯 1世帯		3,500	221
	複数世帯 1世帯			
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			11,689

国保組合支援事業

【 保険年金課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市内に居住する国民健康保険組合の組合員とその家族

意図 国民健康保険組合が行う国民健康保険事業に要する費用に対する補助金であり、保険事業の健全化と事業運営の支援の一助とする目的で交付するため。

効果 組合員の安定した医療保障が図られる。

【 事業の内容 】

・ 保険事業の健全化と事業運営の支援の一助とする目的で、国民健康保険組合員とその家族1人あたりに70円を補助金として交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
77	77	69		8
<支出内訳>				当初予算額
19節 県建設連合国保組合補助金			47	41
県建設業国保組合補助金			30	28



(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

国民健康保険事業特別会計繰出金

【 保険年金課 】

【 事業の内容 】

- ・国民健康保険事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,105,915	2,086,267	2,086,267		0

<支出内訳>

28節 繰出金

当初予算額 2,105,915  
支出済額 2,086,267

<主な特定財源>

・国県支出金

491,456

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

介護保険事業特別会計繰出金

【 高齢者いきいき課 】

【 事業の内容 】

・ 介護保険事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,434,300	2,275,000	2,275,000		0

<支出内訳>

28節 繰出金

当初予算額 支出済額  
2,434,300 2,275,000

<主な特定財源>

・ 国県支出金

24,362

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎市民自治 ○市民自治

社会福祉啓発事業

福祉総務課

※重点事業(事業CD:0-1-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方  
分野 市民自治  
施策の方針 市民自治

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 健やかで心豊かに暮らせるまちづくりに向け、新たなコミュニティや仕組みづくりを進めるため。

効果 地域福祉の推進が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 地域で安心して暮らしていくための初期相談に応じる地域福祉相談室を設置し、適切な支援に繋げていく体制の整備を行った。
- ・ 市社会福祉協議会との協働事業として、地域福祉支援室を運営した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,999	6,999	6,999		0
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	地域福祉相談室事業委託料		5,400	5,400
19節	地域福祉支援室事業負担金		1,599	1,599

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

こどもみらい部発達支援室(発達相談担当)

健康福祉部のうち福祉総務課・臨時福祉給付金担当・生活福祉課(保護担当を除く)・

高齢者いきいき課(介護保険担当を除く)・障害者福祉課・保険年金課(年金担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	409,994	401,387
・ 2節 給料 一般職	186,154	187,291
一般職職員 51人		
再任用(短時間) 3人		
・ 3節 職員手当等	155,333	149,252
扶養手当	4,995	4,206
地域手当	29,629	29,692
通勤手当	5,243	4,863
超過勤務手当	17,978	14,535
休日給	27	117
管理職手当	6,353	6,451
特殊勤務手当	758	535
期末勤勉手当	79,806	80,195
住居手当	8,864	7,038
児童手当	1,680	1,620
・ 4節 共済費	68,507	64,844
市町村職員共済組合負担金	68,031	64,465
社会保険料	401	379
雇用保険料	75	0

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 10 社会福祉施設費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**福祉センター管理運営事業**

福祉総務課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉市福祉センターの利用者の利便性向上と、施設環境の保持を図るため。

効果 利用者の利便性向上のため、適切な施設の管理を行う。

【 事業の内容 】

・福祉センターの効率的な管理運営を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
44,543	35,053	33,556		1,497
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				
			当初予算額	支出済額
11節	維持管理用消耗品費		774	749
	燃料費		5	2
	光熱水費		13,543	9,630
	維持修繕料		3,230	2,675
12節	電信料		113	98
	消防設備・非常用警報(放送)設備保守点検手数料		205	205
	自家用電気工作物保守点検手数料		191	190
	熱源機器保守点検手数料		321	321
	昇降機保守点検手数料		687	687
	受水槽法定点検等手数料		509	491
13節	総合管理業務委託料		23,527	17,092
	警備業務委託料		91	91
	自動ドア保守点検委託料		192	192
	電話設備保守点検委託料		143	142
	樹木伐採業務委託料		216	211
	受変電設備清掃業務委託料		43	43
18節	調理室用冷凍冷蔵庫備品購入費		753	737

障害者福祉運営事業

【 障害者福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
分野 健康福祉  
施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 障害者等に関する施策をより明確にし、よりきめ細かく推進するための障害者福祉計画の着実な推進及び障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス等の適正かつ円滑な実施を行うため。

効果 障害者等の生活の安定と支援の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 障害者福祉計画等の進行管理を行った。
- ・ 障害者総合支援法に基づく事業の施行管理等を行った。
- ・ 障害者団体等への支援を行った。
- ・ 障害者等へのサービス利用調整等必要な支援や権利擁護のための援助など相談支援事業を行った。
- ・ 失語症者等成人言語障害者への支援を行った。
- ・ 在宅の障害者の日中活動の場の確保、障害の特性に応じた作業の場の提供及び地域社会との交流の促進により、障害者の自立を支援する地域活動支援センター事業を実施した。
- ・ 公的年金給付の要件を制度上満たせない在日外国人の障害者に給付金を支給した。
- ・ 基幹相談支援センターを運営した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
258,065	258,049	250,203		7,846
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	総合相談窓口等非常勤嘱託員報酬 10人		10,282	9,767
	障害者介護給付費等審査会委員報酬 15人		3,936	3,185
	障害支援区分認定調査員報酬 3人		4,752	4,752
	障害者福祉計画推進委員会委員報酬 7人		144	164
7節	給付費等事務補助臨時的任用職員賃金		1,617	1,305
8節	障害者施設訪問歯科検診報償費		903	903
	障害福祉相談員等報償費		525	264
9節	総合相談窓口等非常勤嘱託員費用弁償		1,498	454
	障害支援区分認定調査員等費用弁償		552	313
11節	消耗品費		801	631
	備品修繕料		58	0
12節	電信料		73	65
	自立支援給付医師意見書作成手数料		1,181	1,226
	給付費支払システム運営手数料		4,198	4,051
	成年後見市長申立手数料		223	0
	手話通訳者等保険料		47	20
13節	障害者福祉計画点字版等作成委託料		300	0
	障害者相談支援事業運営委託料		8,514	8,514

	障害者地域活動支援センター運営事業委託料 11ヶ所	190,769	189,269
	成年後見センター運営業務委託料	3,780	3,780
	精神保健福祉相談・障害者虐待防止対策支援事業等委託料	4,984	4,787
	基幹相談支援センター運営委託料	11,521	11,476
14節	障害福祉サービス請求内容チェックシステム賃借料	778	778
19節	失語症成人言語障害者支援事業等負担金	468	468
	成年後見制度利用支援事業補助金	1,590	240
	地域生活サポートセンター事業補助金(余暇活動支援事業)	2,000	1,700
	地域活動支援センター事業補助金(フリースペース事業)	1,536	1,056
	鎌倉市肢体不自由児者父母の会補助金	147	147
	鎌倉市身体障害者福祉協会補助金	147	147
	青い麦の会事業運営費補助金	128	128
	鎌倉市手をつなぐ育成会補助金	231	231
	鎌倉市腎友会補助金	40	40
	神奈川県障害者スポーツ振興協議会運営費補助金	30	30
20節	外国籍等障害者福祉給付金	312	312

<主な特定財源>

	・国県支出金		24,678
--	--------	--	--------

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**障害者生活支援事業**

【 障害者福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 障害者等の生活安定及び福祉の向上を図り、必要な生活支援を行うため。

効果 障害者等の生活の安定と支援の充実を図る。

【 事業の内容 】

・施設等通所交通費助成費、特別障害者手当等、福祉手当を対象者に給付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
162,111	154,115	146,597		7,518

< 支出内訳 >

	当初予算額	支出済額
20節 施設等通所交通費助成費	37,338	37,215
特別障害者手当等	42,981	39,436
福祉手当	81,792	69,946

福祉手当

国制度	月 額				人 員	総 額	国 庫
	障害児福祉手当及び 経過措置分福祉手当		特別障害者手当				
	2～3月分	4～1月分	2～3月分	4～1月分			
	14,480円	14,600円	26,620円	26,830円	延 1,739人	39,436千円	29,556千円
市制度	福 祉 手 当				人 員	総 額	国 庫
	2,000円						

< 主な特定財源 >

・国県支出金

29,556



(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**障害者福祉サービス事業**

【 障害者福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 障害者等に必要な障害福祉サービスを提供し、日常生活及び社会生活を総合的に支援し、安心して生活を送ることができるようにするため。

効果 障害者等の日常生活の利便性の向上と、安心して社会生活を送ることができる体制の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 障害者が障害福祉サービスを利用した場合に介護給付費の支給を行った。
- ・ 身体機能を補い日常生活を容易にするために障害者等の補装具・日常生活用具の給付を行った。
- ・ 障害の内容に合わせた住宅設備改修の際に重度障害者住宅設備改造費の助成を行った。
- ・ 自宅の浴槽での入浴が不可能な身体障害者に訪問入浴サービスを実施した。
- ・ グループホーム入居者へ家賃の助成を行った。
- ・ 施設から地域生活移行を予定している入所者を対象として、個室(ユニット)を設置し、地域での生活環境に近づけることを目的とした支援を行う事業については申請がなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,411,058	2,390,897	2,281,537		109,360
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	特別障害者等認定審査嘱託医報償費	319	318	
12節	更生医療審査等手数料	60	59	
13節	身体障害者訪問入浴サービス事業委託料	5,500	4,291	
	虐待防止緊急一時保護事業等委託料	1,472	32	
19節	在宅重度身体障害者生活介護支援事業補助金	8,805	0	
	地域生活サポート事業補助金	5,279	5,123	
	グループホーム設置費補助金	1,000	0	
	グループホーム等家賃助成補助金	12,000	8,526	
	短期入所拠点事業所配置事業補助金	2,157	2,157	
	重度障害者住宅設備改造費補助金	6,670	1,697	
	在宅精神障害者社会復帰対策推進事業費補助金	288	0	
	生活環境改善支援事業補助金	497	0	
20節	日常生活用具給付費	33,200	32,739	
	補装具給付費	36,800	30,235	
	更生医療給付費	86,120	67,127	
	育成医療給付費	500	722	
	療養介護給付費	35,640	39,534	
	施設入所補足給付等	227,260	225,507	
	自立訓練給付費	17,860	20,038	
	短期入所費	103,450	78,113	

居宅介護支援給付費	158,470	146,327
生活介護給付費	926,050	888,271
グループホーム等入居費	246,550	248,277
移動介護給付費	84,360	75,850
障害福祉サービス利用助成費	694	490
自立支援給付費等サービス利用計画作成費	46,390	40,312
児童発達支援給付費	92,740	86,038
放課後等デイサービス等給付費	180,440	203,696
同行援護給付費等扶助費	90,487	76,058

重度障害者住宅設備改造費補助金  
助成状況(改造内容別件数)

住宅設備改良(改良箇所重複あり)						4件
浴室	便所	台所	玄関	廊下	その他	
2カ所	0カ所	1カ所	2カ所	0カ所	2カ所	
県費						848千円

日常生活用具給付費  
品目別給付状況

電気式たん吸引器	12件	聴覚障害者用通信装置	1件
拡大図書器	12件	ストマ用器具	2,943件
介護用ベッド	0件	その他	45件
入浴補助具	6件	合計	3,019件

身体障害児者補装具交付事業  
補装具交付(修理)及び自己負担額扶助状況

区分	交付			修理		
名称	件数	公費負担	自己負担額扶助	件数	公費負担	自己負担額扶助
義肢	6件	2,054千円	102千円	11件	684千円	54千円
装具	99件	9,863千円	906千円	52件	857千円	42千円
補聴器	67件	4,115千円	406千円	25件	417千円	55千円
車いす	16件	4,586千円	186千円	47件	2,329千円	61千円
その他	49件	2,929千円	126千円	4件	410千円	52千円
合計	237件	23,547千円	1,726千円	139件	4,697千円	264千円
国庫						14,999千円
県費						8,670千円

更生医療給付費  
給付利用者の状況

じん臓機能障害	肢体不自由	その他	合計
80人	0人	21人	101人

自立支援給付支給事業

障害者福祉サービス給付費等			
地域生活支援事業	日中一時支援	14件	433,200円
	移動支援	3,072件	75,849,710円
居宅介護(身体・知的・児童・精神)		2,473件	146,562,721円
重度訪問介護		4件	43,060円
行動支援		350件	16,441,504円
同行援護		463件	20,679,583円
療養介護		174件	39,534,028円
生活介護		4,348件	888,429,407円
短期入所(身体・知的・児童)		1,233件	78,112,668円
県単独短期入所加算		620件	9,788,800円
施設入所支援		1,383件	196,539,250円
(施設入所補足給付)		-	28,967,936円
共同生活援助		1,837件	254,839,706円
自立訓練		282件	20,038,376円
計画相談支援		2,436件	40,311,601円
地域移行支援		0件	0円
地域定着支援		5件	16,455円
障害児給付費等			
障害児相談支援		531件	9,324,119円
児童発達支援		755件	86,037,593円
放課後等デイサービス		4,661件	202,920,057円
保育所等訪問支援サービス		47件	775,987円
合計		24,688件	2,115,645,761円
国庫			1,035,778千円
県費			517,302千円

<主な特定財源>

・国県支出金

1,661,667

**障害者社会参加促進事業**

【 障害者福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 在宅の障害者等の社会参加及び外出を支援するため。

効果 障害者等の社会参加の促進を図る。

【 事業の内容 】

- ・聴覚障害者等の依頼により、手話通訳者等を派遣し、聴覚障害者等の情報保障を行った。
- ・手話通訳者を週3回、半日、障害者福祉課窓口に配置した。
- ・手話講習会入門、基礎、中級、上級講座等を開催した。
- ・障害者ふれあいフェスティバルを開催した。
- ・障害者が自ら運転する自動車を改造する場合に自動車改造費の助成を行った。
- ・障害の程度が1級から4級までの下肢・体幹・内部障害、あるいは1級の上肢の障害を有する方を対象とした自動車運転訓練費の助成は、対象者がいなかった。
- ・在宅の重度障害者に福祉タクシー利用券・福祉自動車燃料費助成券等を交付し利用料等の助成を行った。
- ・聴覚障害者に対する緊急時の通報手段として、鎌倉市福祉センターに聴覚障害者用緊急通報装置(パトランプ、電光掲示板)を設置した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
50,625	48,222	44,781		3,441
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				
			当初予算額	支出済額
1節	手話通訳嘱託員報酬 3人		781	766
8節	手話通訳者等派遣等報償費		2,821	1,738
9節	手話通訳嘱託員費用弁償		159	63
11節	福祉タクシー券等印刷製本費		216	229
12節	福祉タクシー券等事務手数料		1,051	993
13節	手話講習会開催等委託料		1,520	1,516
	聴覚障害者用緊急通報装置(パトランプ)設置委託料		713	713
	聴覚障害者用緊急通報装置(電光掲示板)設置委託料		6,977	4,536
19節	障害者ふれあいフェスティバル開催負担金		330	326
20節	身体障害者自動車改造費助成費		300	93
	身体障害者自動車運転訓練費助成費		100	0
	福祉タクシー利用料金等助成費		35,657	33,808
<b>福祉タクシー利用料金等助成事業利用状況</b>				
券種	類	交付者数	利用枚数	執行額
タクシー	利用券	1,253人	延 40,359枚	20,243千円
	自動車燃料費助成券	803人	延 8,986枚	13,479千円
	福祉有償運送助成券	16人	延 285枚	86千円
合	計	2,072人	延 49,630枚	33,808千円

<主な特定財源>

・国県支出金

2,022

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**障害者就労支援事業**

【 障害者福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
分野 健康福祉  
施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 一般就労が困難な障害者等に作業・生活訓練を行い、地域社会の一員として生活できるよう支援するため。

効果 障害者等の雇用の促進と就労の場の確保

【 事業の内容 】

- ・ 在宅の障害者を雇用する事業主に雇用奨励金を支給した。
- ・ 雇用の促進と就労の安定化を図るため、就労後の定着支援事業を行った。
- ・ 企業に就労する知的障害者の定着支援のため、障害者の就労を支援するジョブサポーター派遣事業を行った。
- ・ 就労支援のための訓練給付費を支給し、家賃助成を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
402,214	439,042	423,352		15,690
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
8節	障害者雇用奨励金		7,650	6,073
	雇用促進対策事業報償費		721	286
13節	障害者就労後定着支援事業委託料		2,500	2,500
	障害者就労支援員(ジョブサポーター)派遣事業委託料		1,263	1,064
19節	障害者訓練等給付事業所家賃助成補助金		10,800	10,800
20節	訓練等給付費		379,280	402,629
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			304,170

発達支援事業

【

発達支援室

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 発達に特別な支援を必要とする児童等

意図 ライフステージに応じて、その時々に必要な相談及びサービスを利用できるようにするため。

効果 安心して生活できるよう、一体的、総合的にサービスの提供体制を調整・整備する。

【 事業の内容 】

- ・発達障害を含む特別な支援を必要とする児童等の相談及び早期発見、早期支援について保健、福祉、教育等と連携を図りながら実施した。
- ・障害児放課後・余暇支援事業及び放課後等デイサービスを行う「障害児活動支援センター」の運営を指定管理者に委託した。
- ・特別な支援を必要とする児童を受け入れている幼稚園に対して補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
48,424	43,449	41,821		1,628
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	発達支援嘱託員報酬			
	理学療法士 2人	4,900	4,778	
	言語聴覚士 4人	9,800	9,677	
	心理士 4人	8,575	8,395	
	保育士 1人	1,080	1,051	
	作業療法士 1人	2,450	2,450	
	嘱託医報酬			
	小児神経科医師 1人	791	791	
	整形外科医師 1人	791	791	
	リハビリテーション医師 1人	1,582	1,582	
	発達支援委員会委員報酬 6人	186	166	
	相談支援嘱託員報酬 3人	2,288	2,083	
8節	講演会等講師謝礼	100	90	
	発達支援システム推進協議会委員謝礼	176	70	
9節	発達支援委員会委員費用弁償	15	2	
	相談支援嘱託員等費用弁償	383	147	
11節	消耗品費	283	263	
	燃料費	85	39	
	車両修繕料	120	81	
	医薬材料費	3	0	
12節	電信料	45	41	
	アップライトピアノ調律手数料	12	12	
	普通傷害保険料	359	359	
14節	オージオメタリース等賃借料	508	505	
18節	ラップ大型ジャンピング購入費	186	149	

19節 特別支援保育運営費補助金

13,699

8,292

27節 自動車重量税

7

7

## 発達支援事業

事業名	実施状況	
発達支援事業 (新規相談のみ)	発達相談	145人
	言語聴覚相談	100人
	リハビリ相談	87人
発達支援指導	発達指導	31人(延330人)
	心理指導	2人(延2人)
	言語聴覚指導	92人(延999人)
	リハビリ指導	64人(延807人)
巡回相談事業 (幼稚園・保育園等)	発達相談	52回(延164人)
	言語聴覚相談	50回(延104人)
	リハビリ相談	34回(延86人)
母子グループ指導		29人(延123人)
障害児相談支援事業	障害児支援利用援助	137人(延183人)
	継続障害児支援利用援助	90人(延98人)

## 障害児放課後・余暇支援事業(放課後等デイサービスを含む)

事業名	実施状況	
障害児活動支援センター	開所日数	309日
	登録者数	6人
	延利用者数	105人
障害児活動支援センター (放課後等デイサービス)	開所日数	309日
	契約者数	97人
	延利用児童数	3,062人

## 特別支援保育助成事業

事業名	対象園	人数
特別支援保育運営費補助金交付事業	13園	43人

## &lt;主な特定財源&gt;

・国県支出金

2,855



(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**障害者医療助成事業**

【 保険年金課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 療育手帳A1～B1、身体障害者手帳1～3級と4級の一部、精神障害者保健福祉手帳の1～2級を持つ障害者等

意図 障害者の医療費を助成することにより、障害者の保健の向上に寄与し、福祉の増進を図るため。

効果 常時医療を必要とすることの多い障害者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

【 事業の内容 】

・療育手帳A1～B1、身体障害者手帳1～3級と4級の一部、精神障害者保健福祉手帳1～2級を持つ障害者等(所得制限あり・65歳以上新規障害除外)に、食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を除く健康保険自己負担分を全額助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
711,662	711,662	617,345		94,317

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
7節	臨時的任用職員賃金	330	299
11節	医療助成事務用消耗品費	59	42
	受診証印刷製本費	30	27
12節	審査支払手数料	9,160	8,475
20節	医療扶助費	702,083	608,502

	助 成 件 数	月 平 均 対 象 者
一 般 保 険 分	延 85,066件	2,826人
後 期 高 齢 者 医 療 分	延 55,635件	1,613人

<主な特定財源>

・国県支出金 124,997

障害者施設管理運営事業

【 障害者福祉課・発達支援室 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 ・知的障害者、障害児等

意図 ・知的障害者の日常生活上の支援及び生活能力向上のために必要な支援、並びに就労に必要な支援及び訓練に関する業務を支援するため。

・障害児等に余暇活動の場を確保することにより、その家族の介護に係る身体的及び精神的な負担を軽減し、障害児等及びその家族の福祉の増進を図るため。

効果 ・知的障害者の社会性の向上を図る。

・障害児放課後・余暇支援施設の複数整備により、障害児等が安心して活動できる場が拡大するとともに、利用希望者の増加に対応する。

【 事業の内容 】

・鎌倉はまなみの効率かつ効果的運営を図るため、施設の維持管理及び運営を指定管理者に委託した。

・障害児放課後・余暇支援施設の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,005	33,005	32,772		233
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	障害児放課後・余暇支援施設光熱水費		524	364
	鎌倉はまなみ設備維持修繕料		3,000	2,997
13節	鎌倉はまなみ指定管理料		29,411	29,411
19節	鎌倉はまなみリスク分担金		70	0

高齢者福祉運営事業

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 高齢者等

意図 地域における高齢者の保健・ニーズを分析し、必要なサービス量を定め、豊かな高齢者福祉の基盤整備を図るため。

効果 地域全体で高齢者の自立生活を支え合い、介護が必要になっても住み慣れたまちで暮らし続けられる環境を実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 高齢者保健福祉計画の進行管理を行った。
- ・ 福祉有償運送事業に関する事務を行った。
- ・ 高齢者保健福祉計画策定の基礎資料として、市民アンケートを実施した。
- ・ 福祉有償運送事業に関し、横須賀・三浦地区福祉有償運送市町共同運営協議会の幹事として協議会をまとめた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,722	1,722	1,032		690
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	高齢者保健福祉計画推進委員会委員報酬 13人		396	344
11節	福祉有償運送協議会等消耗品費		11	10
13節	高齢者保健福祉計画基礎調査委託料		1,315	678

高齢者施設福祉事業

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 施設入所等を要する高齢者

意図 高齢者に対し、施設入所等に係る環境づくりを支援し、生活の質の確保を図るため。

効果 高齢者への施設福祉サービスの充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 養護老人ホーム等の入所判定を行った。
- ・ 特別養護老人ホームの土地の借上げを行った。
- ・ 養護老人ホーム等への施設入所措置を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
84,434	77,808	75,636		2,172

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
1節 高齢者措置判定委員会委員報酬 5人	104	104
14節 特別養護老人ホーム(鎌倉プライエムきしろ)土地賃借料	2,093	2,093
20節 施設入所者措置費 35人	82,237	73,439

措置状況

施設名	実人数	延人数	措置費
藤沢養護老人ホーム	10人	延 109人	17,131千円
敬愛の園	2人	延 24人	5,255千円
富岡ホーム	3人	延 36人	8,114千円
えびな南養護老人ホーム	4人	延 40人	7,992千円
ひとみ園	1人	延 11人	1,397千円
相模原養護老人ホーム	7人	延 83人	17,137千円
美山ホーム	5人	延 58人	9,079千円
横須賀養護老人ホーム	1人	延 12人	3,401千円
養護老人ホーム共楽荘	1人	延 12人	1,995千円
養護老人ホーム湘風園	1人	延 12人	1,938千円
合計	35人	延 397人	73,439千円

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**高齢者在宅福祉事業**

【 高齢者いきいき課 】

※重点事業(事業CD:4-1-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 高齢者

意図 高齢者に対し、健康等生活面における自立を支援し、生活の質の確保を図るため。

効果 高齢者への在宅福祉サービスの充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・一人暮らし等の高齢者世帯に緊急通報装置の貸出しを行った。
- ・寝たきり等の高齢者に訪問による理美容サービスを行った。
- ・成年後見制度に関する相談、普及啓発、市民後見人活動支援等を行った。
- ・低所得の高齢者に対する成年後見申立に係る費用の一部助成は、対象者がいなかったため、行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,924	21,804	20,847		957
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		39	35
	医薬材料費		11	11
12節	成年後見市長申立手数料		249	91
13節	緊急通報システム事業委託料		19,725	16,883
	訪問理美容サービス事業委託料		70	47
	成年後見センター運営業務委託料		3,780	3,780
19節	成年後見制度利用支援補助金		50	0

高齢者生活支援事業

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
分野 健康福祉  
施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 介護保険サービス利用者等

意図 介護保険法による軽減策とは別に、市独自で低所得者等に対する負担軽減策を講じるため。

効果 利用者や家族の経済的負担等を軽減し、介護サービス等を利用しやすくする。

【 事業の内容 】

- ・要介護3～5の認定者または、要介護1・2の認定を受け失禁を伴う認知症のある2号被保険者(いずれも低所得で在宅の方)に対し、紙おむつを支給した。
- ・社会福祉法人が運営する施設等の利用者で生活が困難な方に対し、利用者負担分を軽減する事業は、社会福祉法人の軽減額が補助対象額に達しなかったため、補助を行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
272	272	151		121
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
13節 紙おむつ支給事業委託料			252	151
19節 社会福祉法人利用者負担額軽減制度事業補助金			20	0

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**高齢者施設整備事業**

【 高齢者いきいき課 】

※重点事業(事業CD:4-1-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 高齢者

意図 健康の増進や教養の向上と、入所待機者の解消を図るため。

効果 施設による高齢者福祉サービスの充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・腰越地域老人福祉センターの建設工事及び工事監理業務委託については、前年度からの通次繰越分を含めて実施した。
- ・腰越地域老人福祉センター外構工事は、年度内に完了しなかったため、翌年度へ繰越を行った。
- ・介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の施設整備に係る補助金は、工事が遅れたため交付しなかった。
- ・看護小規模多機能型居宅介護事業所の開設準備に係る補助金を交付したが、施設整備については、整備計画の変更により補助金を交付しなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
457,241	383,171	325,961	16,200	41,010
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	介護保険施設等整備事業者選定委員会委員報酬 5人	156	72	
	鎌倉市老人福祉センター指定管理者選定委員会委員報酬 6人	0	186	
11節	消耗品費	50	20	
	腰越地域老人福祉センター初度調弁	10,553	8,963	
	光熱水費	350	0	
12節	電信料	36	50	
	自家用電気工作物保安業務等手数料	89	51	
13節	腰越地域老人福祉センター建設工事監理業務委託料 (継続事業・28年度分 前年度からの通次繰越含む)	12,822	11,351	
	腰越地域老人福祉センター外構工事監理業務委託料	1,490	0	
	腰越地域老人福祉センター機械警備委託料	52	15	
	腰越地域老人福祉センター総合管理委託料	1,881	0	
	腰越地域老人福祉センター機械警備機器設置委託料	162	90	
	腰越地域老人福祉センター電話回線設置委託料	11	0	
	腰越地域老人福祉センターインターネット接続委託料	20	0	
	腰越地域老人福祉センターケーブルテレビ導入委託料	108	108	
	腰越地域老人福祉センター廃棄物回収業務委託料	12	0	
	腰越地域老人福祉センター清掃業務等委託料	0	173	
14節	ケーブルテレビ等利用料	43	0	
15節	腰越地域老人福祉センター建設工事請負費 (継続事業・28年度分 前年度からの通次繰越含む)	286,993	279,301	

	腰越地域老人福祉センター外構工事請負費 (翌年度への繰越明許費)	21,006	10,800
	腰越地域老人福祉センター既存橋補修工事請負費	7,636	3,186
18節	腰越地域老人福祉センター初度調弁	6,182	4,182
19節	特別養護老人ホーム整備費補助金	85,000	0
	施設開設準備経費等支援事業補助金	5,589	5,589
	地域密着型サービス等整備助成事業補助金	17,000	0
	既存高齢者施設等の防犯対策強化事業補助金	0	1,046
	介護ロボット導入促進事業補助金	0	778

<主な特定財源>

	・国県支出金		7,412
	・地方債		275,600



(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**高齢者活動運営事業**

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 高齢者

意図 高齢者の社会参加や生きがいを支援し、福祉の向上を図るため。

効果 高齢者の健康維持や介護予防が図られ、長寿を喜ぶとともに、公的年金を受給できない外国籍市民の福祉を増進する。

【 事業の内容 】

- ・長寿のお祝いとして100歳以上の高齢者に対し、祝品を贈った。
- ・公的年金給付の要件を制度上満たせない在日外国人の高齢者に給付金を支給した。
- ・65歳以上の方が市内の公衆浴場を利用する場合に、入浴料の一部を助成した。
- ・デイ銭湯事業やいきいきサークル事業を行い、高齢者の生きがいを支援した。
- ・老人クラブの活動を支援するため、補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
35,356	35,356	32,307		3,049
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,029	428
7節	臨時的任用職員賃金		190	149
8節	敬老祝品 100歳以上144人		765	650
	施設訪問用花束 11施設		33	33
9節	事務補助嘱託員費用弁償		47	18
11節	消耗品費		56	42
	印刷製本費		1,252	830
13節	高齢者入浴助成事業委託料		14,194	14,194
	デイ銭湯事業委託料		6,152	6,152
	いきいきサークル事業委託料		4,135	2,920
	入浴助成券対象者名簿作成業務委託料		238	162
19節	老人クラブ運営費補助金 73クラブ		5,045	4,689
	老人クラブ連合会補助金		1,620	1,620
20節	外国籍等高齢者福祉給付金		600	420
<主な特定財源>				
	・国県支出金			2,110

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

シルバー人材センター支援事業

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 就業を希望する高齢者

意図 働くことを通じて社会に貢献し、健康と生きがい及び社会参加を図るため。

効果 高齢者の勤労意欲と健康の増進、生活感の充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域づくりに寄与する。

【 事業の内容 】

- ・ シルバー人材センターへの運営費に対する補助金交付及び運転資金貸付により、法人の円滑な運営を支援した。
- ・ 事務所の運営に係る経費を補助した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
46,384	46,384	46,384		0
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	シルバー人材センター用地除草委託料		232	232
19節	神奈川県シルバー人材センター連合会負担金		60	60
	シルバー人材センター運営費補助金		35,722	35,722
	シルバー人材センター事務所補助金		3,370	3,370
21節	シルバー人材センター運転資金貸付金		7,000	7,000

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

高齢者雇用促進事業

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 就業を希望する高齢者

意図 知識・経験豊かな高齢者の就労を通して地域課題の解決に取り組むとともに、高齢者の健康と生きがいの増進及び社会参加を図るため。

効果 意欲ある高齢者の就労を支援することで、高齢者の心身の健康及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域づくりに寄与する。

【 事業の内容 】

- ・生涯現役促進地域連携鎌倉協議会を立ち上げ、協議会の運営資金として貸し付けを行った。
- ・新たに雇用した協議会事務局職員とともに、協議会事務所を開設した。
- ・協議会事務局職員が、就労相談、ホームページの開設・運営、アンケート調査、事業所訪問、就労啓発セミナー開催等を行う際に、協力、支援、助言を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
0	12,322	12,322		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

21節 生涯現役促進地域連携鎌倉協議会貸付金

0 12,322

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

老人保健医療事業

【 保険年金課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
分野 健康福祉  
施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 75歳以上(一定の障害のある方は65歳以上)の市民等

意図 老人保健医療事業終了後の事務処理を行うため。

効果 老人保健医療事業終了後の事務処理を行い、後期高齢者医療制度への円滑な移行を図る。

【 事業の内容 】

- ・医療機関で受診した際、老人保健法一部負担金を控除した額を国民健康保険等の各保険者からの拠出金と国、県、市町村が負担して給付する医療保険制度を運用した。
- ・老人保健医療制度に代わって平成20年4月から後期高齢者医療制度が施行されたため、平成20年3月診療分までに係る精算事務を行ってきたが、平成28年度で事業終了となった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
500	500	0		500
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
23節 償還金			500	0

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

後期高齢者医療事業特別会計繰出金

【 保険年金課 】

【 事業の内容 】

- ・ 後期高齢者医療事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,099,010	2,075,229	2,075,229		0
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
28節 繰出金				2,099,010 2,075,229
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				242,306

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 30 老人福祉施設費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**在宅福祉サービスセンター管理運営事業**

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 快適な施設の環境の保持を図るため。

効果 在宅福祉サービスセンター利用者の利便性向上

【 事業の内容 】

・ 地域の高齢者の介護に関する業務を行う二階堂、御成町、台在宅福祉サービスセンターの維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
48,889	44,680	35,857		8,823
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				
			当初予算額	支出済額
11節 維持管理用消耗品費			270	181
非常用予備発電装置燃料費			9	0
光熱水費			18,020	14,236
維持修繕料			7,500	3,340
備品修繕料			104	0
12節 電信料			481	450
自家用電気工作物保守点検手数料			389	389
消防設備器具保守点検手数料			349	231
受水槽保守点検手数料			298	282
冷温水発生機保守点検手数料			1,108	1,108
ファンコイルユニット保守点検手数料			155	78
貯湯槽保守点検手数料			140	124
昇降機保守点検手数料			1,798	1,798
ボイラー保守点検手数料			367	367
空調保守点検手数料			861	705
給水装置等定期点検手数料			65	65
13節 自動ドア保守点検業務委託料			292	292
グリストラップ清掃及び油汚泥運搬処理業務委託料			272	272
厨房送風機保守点検業務委託料			82	82
総合管理業務委託料			13,765	9,631
清掃業務委託料			1,576	1,372
警備業務委託料			375	374
樹木伐採業務委託料			86	86
害虫駆除業務委託料			457	324
受変電設備清掃業務委託料			70	70

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 30 老人福祉施設費  
 ◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**老人福祉センター管理運営事業** 【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 高齢者(本市に住所を有する60歳以上の者)

意図 健康増進、教養の向上、レクリエーションのための機会を供与するため。

効果 外出やコミュニケーションによって、高齢者の健康的で明るい、生きがいのある生活を実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 名越やすらぎセンター、教養センター、今泉さわやかセンター及び玉縄すこやかセンターの管理運営業務を指定管理者に委託した。
- ・ 各センターの施設修繕を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
181,207	181,207	167,142		14,065
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	維持修繕料		16,418	5,439
13節	老人福祉センター指定管理料		154,796	154,796
	業務用空調機器定期点検委託料		499	0
18節	老人福祉センター備品購入費		9,494	6,907

国民年金事務

【 保険年金課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 国民年金被保険者等

意図 被保険者の年金受給権を確保するため。

効果 老齢、障害、死亡といった事故によって国民生活の安定が損なわれることを防ぎ、健全な国民生活の維持、向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・国民年金に関する資格関係届出、裁定請求、保険料免除申請等の受理・審査及び外国人20歳到達者に係る情報の年金事務所への提供、国民年金資格取得時の保険料納付督促、年金に関する広報、年金相談などを行った。
- ・特定障害者に対する特別障害給付金の支給申請の受理、審査については、支給申請がなかったため行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,941	2,680	2,475		205
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	国民年金相談員報酬 1人		1,320	1,320
7節	臨時的任用職員賃金		242	133
9節	国民年金相談員普通旅費		80	74
11節	国民年金事務用消耗品費		203	202
13節	番号制度対応国民年金システム改修委託料		1,131	0
	納付猶予制度対応国民年金システム改修委託料		590	590
	日本年金機構連携対応国民年金システム改修委託料		1,130	0
14節	電子複写機賃借料		245	156
<主な特定財源>				
	・国県支出金			1,885



(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 40 臨時福祉給付金給付費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**臨時福祉給付金給付事業**

福祉総務課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 市民税均等割非課税者

意図 低所得者の消費税率引き上げに伴う負担軽減と、経済的支援を図るため。

効果 低所得者の経済的支援を図る。

【 事業の内容 】

- ・臨時福祉給付金等の給付に係る周知、申請受付、審査、支払い事務を行った。
- ・経済対策臨時福祉給付金の給付に係る経費については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
679,549	1,096,355	782,798	189,067	124,490
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
3節	職員手当等(翌年度への繰越明許費)		1,440	302
7節	臨時的任用職員賃金(翌年度への繰越明許費)		6,162	5,587
9節	普通旅費(翌年度への繰越明許費)		22	3
11節	消耗品費(翌年度への繰越明許費)		1,096	505
12節	郵便料(翌年度への繰越明許費)		11,454	11,118
	電信料(翌年度への繰越明許費)		159	61
	振込手数料(翌年度への繰越明許費)		4,104	3,294
13節	臨時福祉給付金システム運用等業務委託料 (翌年度への繰越明許費)		29,916	24,376
	データエントリー入力業務委託料(翌年度への繰越明許費)		746	622
14節	コピー機等賃借料		450	61
19節	年金生活者等支援臨時福祉給付金		546,000	446,340
	臨時福祉給付金		78,000	66,999
	経済対策臨時福祉給付金(翌年度への繰越明許費)		0	223,530
<主な特定財源>				
	・国県支出金			782,798

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**児童福祉運営事業**

【 こどもみらい課・保育課他 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 児童等

意図 児童福祉事業の円滑な執行を図るため。

効果 児童福祉事業が適切に実施される。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市子ども・子育て会議の運営を行った。
- ・ 鎌倉市子ども・子育てきらきらプラン～かまくらっ子をみんなで育てよう！～の推進を行った。
- ・ 市内の保育所の児童の健康に関して、専門的な見地から指導助言ができる保健衛生嘱託員を配置した。
- ・ 子ども・子育て支援新制度に係る事務を円滑に運営するため、子ども・子育て支援システムの運用を行い、併せて、多子世帯及びひとり親世帯等の保護者負担の軽減に対応する改修を実施した。
- ・ こどもと家庭に関する相談窓口「こどもと家庭の相談室」の運営を行った。
- ・ 相談事例に専門的な見地から指導助言ができる要保護児童相談助言者を配置した。
- ・ 寄附金を遺児福祉基金に積み立てた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
31,717	34,849	29,798		5,051
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	児童福祉審議会員報酬	260	0	
	鎌倉市子ども・子育て会議委員報酬 15人	728	274	
	保健衛生嘱託員報酬 4人	5,088	4,102	
	事務補助嘱託員報酬 5人	5,142	4,370	
	こどもと家庭の相談室相談員報酬 4人	9,540	8,547	
7節	臨時的任用職員賃金	756	603	
8節	卒園児記念品等	294	271	
	鎌倉市子ども・子育て会議託児用報償費等	0	24	
9節	事務補助嘱託員費用弁償	698	285	
	こどもと家庭の相談室相談員等費用弁償	468	262	
	保健衛生嘱託員費用弁償	500	288	
	鎌倉市子ども・子育て会議委員費用弁償	0	1	
11節	消耗品費	42	42	
	備品修繕料	1	0	
12節	全国市長会認可保育所・認定こども園園児賠償責任保険料	232	231	
13節	子ども・子育て支援システム保守業務委託料	1,620	1,620	
	番号制度対応子ども・子育て支援システム改修委託料	689	0	
	子ども・子育て支援システムサーバ入替設定業務委託料	513	513	
	子ども・子育て支援システム多子軽減等対応業務委託料	0	3,132	
19節	鎌倉市保育会補助金	14	14	

鎌倉市保育士会補助金	14	14
25節 遺児福祉基金積立金	5,118	5,205

<主な特定財源>

・国県支出金		5,185
--------	--	-------

こどもと家庭の相談室の相談状況(平成28年度)

相談件数 386件(うち、新規虐待件数(疑いを含む)179件)

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

子育て支援事業

【 こどもみらい課・こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子育て家庭等

意図 子育てに関する多様なサービスや情報を提供し、子育てニーズに対応するため。

効果 子育て中の市民が子育てを楽しみながらできる環境整備を行う。

【 事業の内容 】

- ・子育て家庭に情報提供をするために保育コンシェルジュを配置した。
- ・一日冒険遊び場、子育て家庭を対象とした講座・イベントなどの開催に係る費用の一部を助成した。
- ・ファミリーサポートセンター又は子育て支援事業者の育児支援又は家事支援を利用した人のうち、在宅で子育てをしている家庭などに、利用料の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,913	6,913	6,500		413
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				
			当初予算額	支出済額
8節	保育コンシェルジュ謝礼		2,949	2,794
	子育て支援キャラクターイラスト作成謝礼		20	20
11節	消耗品費		88	88
12節	電信料		35	35
	保育コンシェルジュ賠償責任・傷害保険料		47	46
19節	子育て支援行事等補助金		1,164	1,112
	在宅子育て家庭支援事業利用料補助金		2,610	2,405
<b>&lt;主な特定財源&gt;</b>				
	・国県支出金			1,814

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**地域子育て支援拠点事業**

【 こどもみらい課・こども相談課 】

※重点事業(事業CD:4-2-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子育て家庭等

意図 子育てに関する多様なサービスや情報を提供することによって、ゆとりある子育て環境をつくるため。

効果 子育て家庭に対し情報提供や育児相談に応じ、育児不安などの解消を目指す。

【 事業の内容 】

- ・児童福祉法に規定する地域子育て支援拠点事業及びその類似事業を指定管理等によって行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
32,344	32,344	31,422		922

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
1節	子育て支援センター指定管理者選定委員会委員報酬 3人	156	86
11節	光熱水費	1,458	732
	子育て支援センター維持修繕料	117	0
12節	電信料	300	292
13節	鎌倉・深沢・大船子育て支援センター指定管理料	22,368	22,367
	玉繩子育て支援センター指定管理料	5,127	5,127
	つどいの広場事業実施委託料	2,818	2,818

<主な特定財源>

・国県支出金 20,758

子育て支援センター利用状況(親子の総人数)

- ・鎌倉子育て支援センター 延 9,524人
- ・深沢子育て支援センター 延 6,798人
- ・大船子育て支援センター 延 9,289人
- ・玉繩子育て支援センター 延11,181人

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

ファミリー・サポート・センター事業

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子育て家庭等

意図 育児等の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、会員同士で相互援助活動を行うため。

効果 地域ぐるみで子育て家庭を支え、心豊かに暮らせる状況を実現する。

【 事業の内容 】

・育児等の援助を受けたい人と援助したい人からなる有償ボランティアの会員組織であるファミリーサポートセンターで、アドバイザーが会員間の調整や援助活動等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,599	10,599	10,464		135
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		98	66
	光熱水費		112	87
12節	電信料		354	380
	ファミリーサポートセンター補償保険料		163	154
13節	ファミリーサポートセンター運営委託料		9,872	9,777
<主な特定財源>				
	・国県支出金			7,052

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**養育支援訪問等事業**

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 子育て  
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 児童等

意図 児童虐待防止の周知啓発及び要保護児童等への支援を行うため。

効果 児童虐待を未然に防止するとともに、早期に発見し、支援することで、児童が心身ともに健全に発育発達することができる。

【 事業の内容 】

- ・ 要保護児童相談助言者の配置や講座の開催等の児童虐待未然防止対策を実施した。
- ・ 児童の養育が一時的に困難となる場合に、宿泊を含む一時的な養育・保護をした。
- ・ 養育者が児童に不適切な養育を行い、児童虐待のリスクを抱え、特に支援が必要と認められる家庭に日常生活支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,614	1,614	692		922
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	ママのトークタイムわかば等謝礼		395	313
9節	こどもと家庭の相談室相談員研修会等費用弁償		26	4
11節	消耗品費		100	70
12節	養育支援訪問事業等補償保険料		76	49
13節	養育支援訪問事業委託料		514	236
	子育て短期支援事業委託料		20	0
	短期入所生活援助事業委託料		483	0
19節	BPファシリテーター認定審査負担金		0	20
<主な特定財源>				
	・国県支出金			592

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

子ども会館・子どもの家管理運営事業

【 青少年課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 市内に居住する乳幼児・小中学生等

意図 子どもに健全な遊び場を提供し、心身の健やかな育成を図るほか、居宅内労働を含む就労等において保護者が昼間家庭にいない児童に対して、家庭的な支援を行うため。

効果 心身ともに健やかな成長を図る。

【 事業の内容 】

- ・各小学校区に子どもの家を設置し、支援員のもと学童保育を行うとともに、子どもの家に併設又は単独で設置する子ども会館により、地域の乳幼児・小中学生に遊び場を提供した。
- ・梶原子ども会館の運営について、指定管理者制度を導入した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
430,325	415,485	399,032		16,453
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	こども育成専任支援員報酬 33人		80,317	81,314
	こども育成支援員報酬 103人		114,912	125,928
	こども育成補助員報酬 22人		40,320	20,467
	事務補助嘱託員報酬 1人		1,028	1,028
	施設巡回嘱託員報酬 1人		588	584
	子ども会館指定管理者選定委員会委員報酬 5人		52	52
7節	夏期及び障害児対応等臨時的任用職員賃金		11,672	11,355
8節	児童見守り等謝礼		400	316
9節	非常勤嘱託員費用弁償		10,935	8,581
	研修旅費		490	104
11節	消耗品費		4,985	5,170
	燃料費		231	207
	光熱水費		9,764	7,652
	維持修繕料		12,895	12,852
	備品修繕料		30	0
	医薬材料費		200	199
12節	電信料		1,926	2,076
	エレベーター保守点検等手数料		612	307
	賠償責任保険料		2,698	2,283
13節	子ども会館・子どもの家放課後児童支援員派遣業務委託料		89,813	72,475
	梶原子ども会館指定管理料		4,273	4,273
	機械警備委託料		1,098	1,044
	大船子ども会館植栽委託料		916	864
	子どもの家利用料徴収システム保守委託料		880	880
	口座振替用システム改修委託料		718	718
	伐採・斜面地草刈委託料		497	205



	軽作業委託料	335	81
	備品等廃棄物収集運搬処分委託料	172	123
	蜂駆除委託料	38	0
	クレペリン検査委託料	22	7
	入退室管理システム業務委託料	0	221
14節	腰越子ども会館・子どもの家施設賃借料	17,496	17,496
	大船子どもの家増築棟賃借料	6,367	6,367
	深沢子ども会館暫定施設賃借料	5,210	5,210
	山崎子どもの家増築棟賃借料	3,120	3,120
	山崎子ども会館・子どもの家増築棟賃借料	2,734	2,734
	負傷児童病院送迎用タクシー使用料	11	6
	入退室管理システム賃借料	0	194
18節	冷蔵庫等備品購入費	1,000	971
19節	梶原子ども会館市民協働事業負担金	1,568	1,568
22節	賠償金	1	0
23節	子どもの家利用料還付金	1	0

<主な特定財源>

	・国県支出金		138,697
--	--------	--	---------

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**小児医療助成事業**

【 保険年金課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 子育て  
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 0歳～小学校6年生の入・通院した者と、中学生の入院した者

意図 医療費を助成することにより、小児の保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図るため。

効果 小児の養育者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

【 事業の内容 】

・ 食事療養標準負担額を除く0歳～小学校6年生の入・通院と、中学生の入院にかかる健康保険自己負担分医療費の全額を助成した。(小・中学生については一定の所得制限あり。)

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
491,349	491,349	437,820		53,529

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
7節 臨時的任用職員賃金	791	733
11節 医療助成事務用消耗品費	159	143
受診証印刷製本費	57	51
12節 審査支払等手数料	19,496	16,356
20節 医療扶助費	470,846	420,537

助成件数	月平均対象者
延 221,184件	13,476人

<主な特定財源>

・ 国県支出金 62,612

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**未熟児養育医療事業**

【 保険年金課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 子育て  
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 出生時の体重が2,000g以下又は身体の発育が未熟のまま出生した乳児(0歳児)

意図 諸機能を得るまでに必要な入院医療にかかる費用を負担することにより、保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図るため。

効果 未熟児の養育者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

【 事業の内容 】

- ・ 出生時の体重が2,000g以下又は身体の発育が未熟のまま出生し、指定医療機関へ入院して養育を行う必要のある乳児(0歳児)に対して、諸機能を得るまでの必要な入院医療にかかる費用を負担した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,715	9,715	5,682		4,033

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
7節 臨時的任用職員賃金	77	74
11節 未熟児養育医療事務用消耗品費	31	10
12節 審査支払手数料	7	3
20節 医療扶助費	9,600	5,595

助 成 件 数	月 平 均 対 象 者
延 104件	4人

<主な特定財源>

・ 国県支出金 4,366

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

こどもみらい部(青少年課及び発達支援室発達相談担当の一部を除く)  
健康福祉部保険年金課(医療給付担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	1,194,850	1,122,574
・ 2節 給料 一般職	539,894	514,398
一般職職員 146人		
再任用(短時間) 6人		
・ 3節 職員手当等	427,901	400,015
扶養手当	9,650	10,253
地域手当	83,411	79,663
通勤手当	14,145	10,727
超過勤務手当	60,625	52,106
休日給	109	601
管理職手当	6,447	6,430
特殊勤務手当	1,117	978
期末勤勉手当	224,549	215,521
住居手当	21,503	17,101
児童手当	6,345	6,635
・ 4節 共済費	227,055	208,161
市町村職員共済組合負担金	195,773	176,501
社会保険料	28,404	29,632
雇用保険料	2,878	2,028

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**児童手当支給事業**

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 子育て  
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 0歳から15歳に到達した最初の年度末(3月31日)までの間にある児童(中学校修了前の児童)を養育している者

意図 児童を養育している者に児童手当を支給するため。

効果 家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資する。

【 事業の内容 】

- ・児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的に、児童を養育している者に手当を支給した。
- ・支給額 0歳から3歳未満の児童及び3歳以上小学校修了前の第3子以降の児童は、15,000円(月額)。3歳以上小学校修了前の第1、2子の児童及び中学生は、10,000円(月額)。なお、所得制限限度額以上である場合は年齢によらず一律5,000円(月額)。
- ・児童手当支給のためのシステム管理等に係る経費を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,522,535	2,522,591	2,349,200		173,391
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
7節	臨時的任用職員賃金		2,287	2,343
11節	児童手当消耗品費		282	282
	児童手当印刷製本費		100	100
13節	児童手当システム運用業務委託料		3,975	3,975
	番号制度対応児童手当システム改修委託料		5,052	5,052
14節	児童手当システム機器賃借料		4,879	4,878
20節	児童手当・特例給付		2,505,960	2,332,570
	・児童手当			
	0歳から3歳未満(被用者)	月額15,000円	2,205人分	12ヶ月
	0歳から3歳未満(非被用者)	月額15,000円	512人分	12ヶ月
	3歳以上小学校修了前(1子・2子)	月額10,000円	8,459人分	12ヶ月
	3歳以上小学校修了前(3子以降)	月額15,000円	906人分	12ヶ月
	中学生	月額10,000円	2,890人分	12ヶ月
	・特例給付			
	0歳から3歳未満(被用者)	月額5,000円	477人分	12ヶ月
	0歳から3歳未満(非被用者)	月額5,000円	43人分	12ヶ月
	3歳以上小学校修了前(1子・2子)	月額5,000円	2,899人分	12ヶ月
	3歳以上小学校修了前(3子以降)	月額5,000円	314人分	12ヶ月
	中学生	月額5,000円	1,455人分	12ヶ月
	・児童手当(施設入所)			
	0歳から3歳未満	月額15,000円	2人分	12ヶ月

3歳以上小学校修了前  
中学生

月額10,000円  
月額10,000円

40人分  
21人分

12ヶ月  
12ヶ月

<主な特定財源>

・国県支出金

2,022,276

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

入院助産等事業

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 経済的な理由により、出産が困難な家庭等

意図 母子の保護を図るため。

効果 母子の生活の安定と自立の促進を図る。

【 事業の内容 】

- ・母子家庭で児童の養育が十分にできない場合、自立促進に向けて、母子とともに生活支援施設に入所させて保護した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,510	12,510	10,548		1,962

<支出内訳>

20節 助産施設入所費

母子生活支援施設入所費

当初予算額 支出済額

495 0

12,015 10,548

<主な特定財源>

・国県支出金

8,432

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**特定教育・保育施設支援事業**

【 保育課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子ども・子育て支援法に基づく確認を受けた幼稚園、保育所及び認定こども園(特定教育・保育施設)に通う就学前児童

意図 市内在住の児童が通う特定教育・保育施設に対し給付を行い、施設経営の健全化を図るとともに、就学前児童の教育及び保育を行うため。

効果 特定教育・保育施設に通う児童の処遇向上及び施設経営の健全化等を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【 事業の内容 】

・ 特定教育・保育施設に対し、施設型給付費等を支給した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,305,162	2,285,142	2,153,730		131,412
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節	施設型給付費(1号認定児 地方単独費用部分)		48,654	36,045
20節	施設型給付費(2、3号認定児 私立保育所委託費)		1,794,400	1,698,698
	施設型給付費		386,657	332,830
	(1号認定児 全国統一費用部分及び2、3号認定児 認定こども園)			
	施設型給付費(市外園児分)		68,629	84,663
	法外扶助費(市外園児法外対応分)		6,822	1,494
<主な特定財源>				
	・国県支出金			884,028



施設型給付費(1号認定児 地方単独費用部分)		
施設名	給 付 費 ( 委 託 費 ) 支 弁 額	
	延 人 員	金 額
人 円		
委 託 ( 私 立 )	2,518	36,044,719
施設型給付費(1号認定児 全国統一費用部分(市外園児分))		
施設名	給 付 費 ( 委 託 費 ) 支 弁 額	
	延 人 員	金 額
人 円		
委 託 ( 私 立 )	580	6,512,831
施設型給付費(2、3号認定児 全国統一費用部分)		
施設名	給 付 費 ( 委 託 費 ) 支 弁 額	
	延 人 員	金 額
人 円		
富 士 愛 育 園	1,440	112,484,550
聖 ア ン ナ の 園	1,731	136,254,990
岩 瀬 保 育 園	1,312	123,190,160
オ ラ ン ジ エ	592	69,153,110
清 心 保 育 園	1,092	102,059,410
こ ば と ナ ー サ リ ー	1,045	102,336,980
大 船 ひ ま わ り 保 育 園	882	117,810,720
た ん ぼ ぼ 共 同 保 育 園	848	102,386,430
梶 原 の 森 た ん ぼ ぼ 保 育 園	1,071	111,756,440
山 崎 保 育 園	1,162	113,511,050
ピ ヨ ビ ヨ 保 育 園	765	93,094,350
寺 分 保 育 園	1,258	105,686,600
ブ レ ッ プ お お ぞ ら 保 育 園	457	77,407,720
保 育 園 み つ ば ち	840	98,003,500
保 育 所 の ぞ み	317	62,912,350
う ち ゆ う 保 育 園 か ま く ら	696	87,976,420
明 照 フ ラ ワ ー ガ ー デ ン 保 育 園	703	82,673,410
認 定 こ ど も 園 ア ワ ー キ ッ ズ 鎌 倉	3,725	171,341,628
認 定 こ ど も 園 ア ワ ー キ ッ ズ 大 船	1,543	91,707,043
認 定 こ ど も 園 鎌 倉 み ど り こ ど も 園	1,168	69,781,439
小 計	22,647	2,031,528,300
委 託 ( 公 立 )	72	3,180,700
委 託 ( 私 立 )	737	74,969,686
小 計	809	78,150,386
合 計	23,456	2,109,678,686
※ アワーキッズ鎌倉・大船、鎌倉みどりは保育料は自園徴収。		
法外扶助費(2、3号認定児 市外園児法外対応分)		
施設名	給 付 費 ( 委 託 費 ) 支 弁 額	
	延 人 員	金 額
人 円		
委 託 ( 私 立 )	192	1,493,847
合 計	26,746	2,153,730,083

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**特定地域型保育支援事業**

【 保育課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子ども・子育て支援法に基づく確認を受けた家庭的保育事業者、小規模保育事業者等(地域型保育事業者)を利用する就学前児童

意図 市内在住の児童が利用している地域型保育事業者に対し給付を行い、事業運営の健全化を図るとともに、就学前児童の保育を行うため。

効果 地域型保育事業者を利用する児童の処遇向上及び事業運営の健全化等を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【 事業の内容 】

・ 特定地域型保育事業者に対し、地域型保育給付費を支給した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
99,567	112,501	111,479		1,022
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
20節	地域型保育給付費(小規模保育事業・事業所内保育事業)		88,892	99,435
	地域型保育給付費(家庭的保育事業)		10,675	12,044
<主な特定財源>				
	・国県支出金			52,941

地域型保育給付費		
施設名	給 付 費 ( 委 託 費 ) 支 弁 額	
	延 人 員	金 額
	人	円
まんまる保育室	173	33,807,010
保育室ハピネス	86	19,648,720
てつなぐ腰越保育室	139	26,324,640
ササKids	44	17,758,830
深見保育室	56	12,044,830
小 計	498	109,584,030
委 託 (私 立)	7	1,895,200
小 計	7	1,895,200
合 計	505	111,479,230

※ まんまる、ハピネス、てつなぐ、ササKidsは保育料は自園徴収。

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**特別保育事業**

【 保育課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子ども・子育て支援法に基づく確認を受けた幼稚園、保育所及び認定こども園(特定教育・保育施設)に通う児童等

意図 特定教育・保育施設に通う児童等に係る通常保育以外の保育を行うため。

効果 子ども・子育て支援法に基づく地域子ども・子育て支援事業の充実を図ることができる。

【 事業の内容 】

- ・ 公立保育園における一時預かり事業の非常勤嘱託員報酬を執行した。
- ・ 公立保育園における一時預かり事業の臨時的任用職員賃金を執行した。
- ・ 公立保育園における一時預かり事業の非常勤嘱託員費用弁償を執行した。
- ・ 利用者支援事業に係る経費を執行した。
- ・ 病後児保育事業に係る経費を執行した。
- ・ 特定教育・保育施設等の通常の保育時間を超えた延長保育に要する経費に対する補助金を交付した。
- ・ 特定教育・保育施設の通常の教育時間を超えた預かり保育に要する経費に対する補助金を交付した。
- ・ 特定教育・保育施設の一時的預かり事業に要する経費に対する補助金を交付した。
- ・ 特定教育・保育施設における保護者からの実費徴収に当たり、生活保護世帯の負担を軽減するため、補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
79,986	79,930	67,738		12,192
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	一時預かり事業非常勤嘱託員報酬 7人		7,560	8,118
7節	臨時的任用職員賃金		7,269	5,273
8節	外部講師謝礼		50	0
9節	一時預かり事業非常勤嘱託員費用弁償		371	216
11節	消耗品費		20	11
13節	病後児保育委託料		17,148	17,147
19節	延長保育事業等補助金		37,024	27,321
	幼稚園型預かり保育補助金		2,004	3,834
	一時預かり事業補助金		8,126	5,811
	実費徴収補足給付事業補助金		414	7
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			42,739

(単位:千円)

区分	保育所等											
	富士愛育園	聖アンナの園	岩瀬保育園	オレンジ	清心保育園	こぼとナリー	大船ひまわり保育園	たんぼぼ共同保育園	山崎保育園	ピヨピヨ保育園	寺分保育園	アワーキッズ鎌倉
子ども・子育て支援交付金												
延長保育事業等補助金	1,432	1,471	1,585	1,386	1,355	1,375	1,342	1,402	2,176	1,434	333	2,307
幼稚園型預かり保育補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,487
一時預かり事業補助金	0	0	19	0	41	738	0	2,122	1,765	0	0	0
実費徴収補足給付事業補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0
小計	1,432	1,471	1,604	1,386	1,396	2,113	1,342	3,524	3,948	1,434	333	4,794
区分	保育所等											計
	梶原の森たんぼぼ保育園	プレップおおぞら保育園	アワーキッズ大船	鎌倉みどりこども園	保育園みつばち	保育所のぞみ	うちゅう保育園かまくら	明照フラワーガーデン保育園	まんまる保育室(小規模保育)	てつなぐ腰越保育室(小規模保育)	市外	
子ども・子育て支援交付金												
延長保育事業等補助金	1,403	1,443	1,410	1,342	1,537	327	300	1,361	300	300	0	27,321
幼稚園型預かり保育補助金	0	0	0	1,224	0	0	0	0	0	0	123	3,834
一時預かり事業補助金	0	0	0	0	986	0	0	140	0	0	0	5,811
実費徴収補足給付事業補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
小計	1,403	1,443	1,410	2,566	2,523	327	300	1,501	300	300	123	36,973

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**私立保育所等助成事業**

【 こどもみらい課・保育課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 子育て  
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 市内在住の児童が通う私立保育所等に対し補助を行い施設経営の健全化を図るとともに、両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。

効果 私立保育所等に通う児童の処遇向上及び施設経営の健全化等を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【 事業の内容 】

- ・玉縄地域の待機児童解消対策の暫定的な措置として、私立保育所の分園形式による保育所を設置していたが、新園設置に伴いその機能を吸収したことから、建物の解体が完了するまでの期間の土地借地料を執行した。
- ・私立保育所に対する支援として、民間保育所特別経常費補助金及び保育緊急対策事業費補助金を交付した。
- ・障害児の保育に対する障害児保育推進特別対策事業費補助金を交付した。
- ・職員の雇用、入所児童の処遇改善等に対する民間保育所運営改善費補助金を交付した。
- ・届出保育施設に入所している児童の保育に要する経費に対する補助金を交付した。
- ・認定こども園化を目指す幼稚園が実施する長時間の預かり保育に必要な経費に対する長時間預かり保育支援事業費補助金を交付した。
- ・賃借物件を活用して私立保育所等を運営する事業者に対して家賃の補助金を交付した。
- ・賃借物件を改修して小規模保育事業所を整備する事業者に対して、改修費の補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
525,047	509,455	476,094		33,361
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
14節	玉縄地域保育所仮設園土地借地料	315	315	315
19節	民間保育所特別経常費補助金	14,659	14,659	14,659
	保育緊急対策事業費補助金	101,502	63,480	63,480
	障害児保育推進特別対策事業費補助金	17,736	19,852	19,852
	民間保育所運営改善費補助金	292,876	279,528	279,528
	民間保育所運営改善費補助金(激変緩和分)	60,690	61,444	61,444
	届出保育施設運営改善費補助金	227	145	145
	認可化移行運営費支援事業補助金	3,348	0	0
	私立幼稚園長時間預かり保育支援事業費補助金	11,484	5,916	5,916
	安心こども交付金(大船ひまわり保育園分園賃借料補助)	1,800	1,800	1,800
	安心こども交付金(オレンジ分園Sprout賃借料補助)	1,350	1,350	1,350
	安心こども交付金(プレップおおぞら保育園賃借料補助)	6,804	6,804	6,804
	安心こども交付金(うちゅう保育園かまくら賃借料補助)	9,340	9,340	9,340
	安心こども交付金(てつなぐ腰越保育室賃借料補助)	2,916	2,916	2,916
	安心こども交付金(保育室ハピネス改修費補助)	0	8,545	8,545

<主な特定財源>

・国県支出金

66,705

(単位:千円)

区分	保育所等	富士愛育園	聖アンの園	岩瀬保育園	オランジェ	清心保育園	こぼとけサラー	大船ひまわり保育園	たんぼぼ共同保育園	山崎保育園	ピヨピヨ保育園	寺分保育園	アワーキッズ鎌倉	梶原の森たんぼぼ保育園	プレッおおぞら保育園	アワーキッズ大船	鎌倉みどりこども園	保育園みづはち	保育所のぞみ	うちゅう保育園かまくら	明照ファミリーガーデン保育園	計
民間保育所運営費補助金																						
(特別経費)		2,850	0	780	0	0	6,394	0	1,800	0	2,835	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,659
保育緊急対策事業費補助金																						
低年齢児受入対策緊急支援事業		0	4,546	0	0	6,315	8,337	0	2,885	5,078	570	4,199	0	7,400	0	0	918	5,348	854	2,658	0	49,108
民間保育所健康管理体制強化事業		0	0	0	362	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	362	0	0	0	0	0	724
要保護児童保育所受入促進事業		0	0	393	0	674	0	0	674	674	0	674	281	674	0	0	0	674	393	674	112	5,897
地域型保育事業連携対策緊急支援事業		0	221	0	0	0	0	0	0	0	295	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	516
民間保育所運営費緊急支援事業		707	707	0	707	707	707	0	165	0	0	707	0	707	707	707	707	0	0	0	0	7,235
小計		707	5,474	393	1,069	7,696	9,044	0	3,724	5,752	570	5,875	281	8,781	707	1,069	1,625	6,022	1,247	3,332	112	63,480
障害児保育事業費補助金																						
特別経費		888	0	0	0	0	1,656	0	0	0	1,784	0	0	888	0	0	888	768	0	0	0	6,872
通常経費		550	1,320	0	0	0	3,300	660	1,870	0	495	1,210	0	3,575	0	0	0	0	0	0	0	12,980
小計		1,438	1,320	0	0	0	4,956	660	1,870	0	2,279	1,210	0	4,463	0	0	888	768	0	0	0	19,852
民間保育所運営改善費補助金																						
(職員加算)		4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,382	4,332	4,720	4,049	4,720	4,381	4,720	92,664
(経営改善費)		8,004	8,018	7,176	5,273	7,141	7,172	8,389	7,034	7,495	7,034	8,052	10,589	7,503	6,213	7,044	6,545	6,986	5,607	6,880	6,698	144,853
(処遇改善費)		2,664	3,247	2,438	1,136	2,020	1,955	1,632	1,569	2,150	1,460	2,372	3,896	2,048	847	3,045	1,972	1,587	586	1,288	1,349	39,261
(健康管理費)		138	139	139	138	0	139	139	138	138	138	138	100	139	139	31	0	124	0	0	139	2,056
(災害共済負担費)		46	54	47	26	36	37	30	27	36	24	52	101	35	0	63	31	27	0	22	0	694
小計		15,572	16,178	14,520	11,293	13,917	14,023	14,910	13,488	14,539	13,376	15,334	19,406	14,445	11,581	14,515	13,268	12,773	10,913	12,571	12,906	279,528
(徴収緩和分)		19,878	1,774	0	3,782	2,637	0	0	0	0	0	3,273	0	0	16,789	13,311	0	0	0	0	0	61,444
合計		40,445	24,746	15,693	16,144	24,250	34,417	15,570	20,882	20,291	19,060	25,692	19,687	27,689	29,077	28,895	15,781	19,563	12,160	15,903	13,018	438,963

(円)

区分	保育所	ひまわり会	どんぐり	市外認定保育施設	計
届出保育施設運営改善費補助金					
(児童健康管理費)		92,000	0	0	92,000
(従事者健康管理費)		23,500	0	0	23,500
(施設賠償責任保険)		15,000	15,000	0	30,000
小計		130,500	15,000	0	145,500
認可化計画保育施設運営費補助金					
(認可化計画保育施設運営費補助金)		0	0	0	0
小計		0	0	0	0
合計		130,500	15,000	0	145,500

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○子育て支援施設の整備

**私立保育所等整備事業**

【 保育課 】

※重点事業(事業CD:4-2-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て支援施設の整備

【 事業の目的 】

対象 私立保育所等を運営する法人

意図 市内の私立保育所の整備等に対し補助を行い待機児童の解消等を図るため。

効果 待機児童の解消や子どもを安心して育てることができる体制整備を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 玉縄地域の待機児童対策として、フラワーセンター大船植物園本園苗ほ跡地を賃借した。
- ・ 保育所の建替え工事に対する施設整備費を補助した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
241,082	233,845	233,844		1
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
14節	フラワーセンター大船植物園本園苗ほ跡地土地借地料		9,023	9,022
19節	聖アンナの園建替え工事費補助金		232,059	224,822
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			199,842



(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 15 母子福祉費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

ひとり親家庭等生活支援事業

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 子育て  
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 ひとり親家庭等

意図 ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進を図るため。

効果 ひとり親家庭等の安定した生活を維持する。

【 事業の内容 】

- ・離婚などで父親又は母親と生計を同じくしていない児童や、父親又は母親が重度の障害の状態にある場合、児童の養育者に対して児童扶養手当法に基づく手当を支給した。
- ・ひとり親への支援としてひとり親家庭自立支援高等職業訓練促進給付金、家賃助成を行った。
- ・遺児が中学校を卒業する際に卒業祝金を、ひとり親家庭等の児童が大学に進学する際に支度金を贈呈した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
348,478	320,863	304,491		16,372
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	児童扶養手当認定医報酬		30	0
	ひとり親家庭自立支援員報酬 2人		5,040	5,040
8節	遺児卒業祝金		540	390
	ひとり親家庭等児童大学進学支度金		3,000	2,580
9節	ひとり親家庭自立支援員費用弁償		332	314
11節	児童扶養手当消耗品費		30	26
12節	ひとり親家庭等日常生活支援事業補償保険料		39	24
13節	ひとり親家庭等日常生活支援業務委託料		86	0
	番号制度対応児童扶養手当(福祉総合)システム改修委託料		1,026	1,026
	児童扶養手当(福祉総合)システム改修委託料(多子加算分)		0	1,685
19節	鎌倉市母子寡婦福祉会補助金		35	35
	ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金		100	0
20節	ひとり親家庭等家賃助成		22,560	16,424
	児童扶養手当		308,065	270,959
	ひとり親家庭自立支援高等職業訓練促進給付金		7,350	5,982
21節	母子、寡婦及び父子福祉資金貸付金		200	0
25節	社会福祉基金利子積立金		45	6
<主な特定財源>				
	・国県支出金			96,417

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 15 母子福祉費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

ひとり親家庭等医療助成事業

【 保険年金課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
分野 子育て  
施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 ひとり親家庭等のこどもとその養育者

意図 医療費を助成することにより、その生活の安定及び自立を支援し、福祉の増進を図るため。

効果 ひとり親家庭等の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成することで生活の安定と自立を支援する。

【 事業の内容 】

・ひとり親家庭等の高校卒業前のこどもとその養育者の、食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を除く健康保険自己負担分医療費の全額を一定の所得制限を設けて助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
72,241	72,241	59,671		12,570

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
7節 臨時的任用職員賃金	55	46
11節 医療助成事務用消耗品費	35	24
受診証印刷製本費	22	19
12節 審査支払手数料	1,729	1,572
20節 医療扶助費	70,400	58,010

助 成 件 数	月 平 均 対 象 者
延 25,108件	1,832人

<主な特定財源>

・国県支出金 26,939

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 20 児童福祉施設費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**公立保育所管理運営事業**

【 こどもみらい課・保育課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 子育て  
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。

効果 公立保育所の効率的な運用と維持管理を行うとともに、待機児童対策に取り組む。

【 事業の内容 】

- ・公立保育所の保育士、給食調理員等の賃金を執行した。
- ・公立保育所の給食に係る経費を執行した。
- ・岡本保育園新園舎を賃借した。
- ・その他公立保育所の運営と維持管理に係る経費を執行した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
415,607	417,187	374,758		42,429
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	保育所嘱託医報酬(小児科・耳鼻科・眼科・歯科医) 24人		2,517	2,516
	低年齢児保育用非常勤嘱託員報酬 1人		1,325	837
	保育非常勤嘱託員報酬 20人		13,311	12,147
7節	産休・育休代替等臨時的任用職員賃金		139,481	113,032
8節	人形劇公演謝礼		300	240
9節	非常勤嘱託員費用弁償		916	706
11節	保育用消耗品費		4,996	5,519
	印刷製本費		73	65
	光熱水費		27,037	19,674
	維持修繕料		14,240	13,775
	備品修繕料		200	48
	給食賄材料費		59,574	57,786
	給食食材放射性物質濃度測定用賄材料費		462	461
	医薬材料費		90	87
12節	電信料		721	718
	検便検査手数料		730	479
	エレベーター保守点検等手数料		1,770	1,676
13節	処理困難備品廃棄処分委託料		400	118
	清掃業務委託料		10,734	8,486
	用務・軽作業業務委託料		8,445	8,110
	警備委託料		940	866
	グリスラップ及び排水管清掃委託料		274	259
	布団乾燥委託料		1,958	1,666
	受水槽清掃委託料		201	200
	ゴキブリ駆除委託料		58	58
	園庭整備委託料		200	196

	臨時的任用職員健康診断委託料	206	82
	深沢保育園高所窓清掃委託料	65	54
	遊具点検業務委託料	173	50
	第三者評価事業委託料	237	227
	給食調理業務委託料	59,746	58,514
	保育士派遣業務委託料	20,631	22,754
	園庭遊具撤去業務委託料(大船保育園)	0	432
14節	低年齢児用体動モニター等賃借料	1,120	908
	岡本保育園新園舎賃借料	39,248	39,248
18節	保育園用備品購入費	800	392
	給食用備品購入費	1,944	1,901
19節	日本スポーツ振興センター災害共済等負担金	483	471
22節	保育所事故損害賠償金	1	0

<主な特定財源>

	・国県支出金		478
--	--------	--	-----

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 20 児童福祉施設費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

あおぞら園管理運営事業

【 発達支援室 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 子育て  
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 発達に特別な支援を必要とする児童

意図 児童発達支援センターにおいて、日常生活における基本動作の指導、独立自活に必要な知識技能の付与又は集団生活への適応のための訓練を提供するため。

効果 発達に特別な支援を必要とする児童が住みなれた地域社会の中で、普通に暮らしているようにするため、自立に必要な能力の育成を図り、社会への適応性を身につけていくこと。

【 事業の内容 】

- ・発達に特別な支援を必要とする児童に対し、保護者と情報交換しながら日々児童指導員、保育士等が集団生活や遊びを通して基本的な生活習慣や社会性の発達を援助した。
- ・あおぞら園の管理及び通園バスの運行に係る経費を執行した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
56,899	57,275	52,766		4,509
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	嘱託医報酬			
	精神科医師 1人		791	791
	小児科医師 1人		142	142
	眼科医師 1人		69	69
	耳鼻科医師 1人		69	69
	歯科医師 1人		139	139
	栄養・給食嘱託員報酬 1人		1,728	1,728
	事務補助嘱託員報酬 2人		2,057	2,056
7節	臨時的任用職員賃金		6,101	2,192
8節	保護者向け講演会講師謝礼等		61	49
9節	事務補助嘱託員等費用弁償		310	215
11節	消耗品費		659	509
	燃料費		87	53
	印刷製本費		16	7
	光熱水費		3,185	2,384
	加圧給水ポンプ交換修繕料		1,932	853
	内装クロス張替修繕料		0	1,106
	小破修繕料		1,398	379
	備品修繕料		0	12
	車両修繕料		120	129
	給食賄材料費		4,017	3,853
	給食食材放射性物質濃度測定用賄材料費		54	49
	医薬材料費		30	29
12節	電信料		245	249
	自家用電気工作物保安管理等手数料		554	502

	普通傷害保険料	497	497
13節	通園バス運行委託料	12,013	11,748
	給食調理業務委託料	9,007	9,007
	総合施設管理業務委託料	5,469	5,469
	保育士派遣委託料	4,635	7,213
	警備業務委託料	107	106
	害虫駆除業務委託料	0	41
	植木剪定業務委託料	22	21
	健康診断用健診器具滅菌業務委託料	7	7
14節	コピー機等賃借料	208	194
18節	園庭遊具等備品購入費	1,131	863
19節	県社会福祉協議会会費負担金	25	25
	市社会福祉協議会会費負担金	3	3
	事故見舞金負担金	1	0
22節	児童発達支援センター事故損害賠償金	1	0
27節	自動車重量税	9	8

利用状況

・児童発達支援センターあおぞら園

児童発達支援 開園日数:224日 年間利用児数:31人(延4,785人)

保育所等訪問支援 年間利用児数:5人(延55人)

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 20 児童福祉施設費

◎子育て ○子育て支援施設の整備

**子ども会館・子どもの家整備事業**

【 こどもみらい課・青少年課 】

※重点事業(事業CD:4-2-2-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て支援施設の整備

【 事業の目的 】

対象 市内に居住する乳幼児・小中学生等

意図 子ども会館の整備を行い遊びを通して相互の交流が図られ社会性が身につけられるよう充実に図るとともに、子どもの家の整備を行い増加する学童保育の需要に対応するため。

効果 心身ともに健やかな成長を図る。

【 事業の内容 】

・子ども会館・子どもの家の施設整備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
52,615	26,795	18,072		8,723
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	放課後子ども総合プラン運営事業者選定委員会報酬 10人	312	210	
13節	西鎌倉小学校屋外トイレ移設工事設計業務委託料	3,726	0	
	西鎌倉小学校屋外トイレ移設工事監理業務委託料	1,468	0	
	西鎌倉小学校学童保育施設(にしかまくら子どもの家)用地地質調査業務委託料	411	216	
	西鎌倉小学校学童保育施設(にしかまくら子どもの家)用地測量業務委託料	436	434	
	今泉小学校学童保育施設(いわせ子どもの家)用地地質調査業務委託料	497	345	
	今泉小学校学童保育施設(いわせ子どもの家)用地測量業務委託料	456	456	
	今泉小学校学童保育施設(いわせ子どもの家)緑化業務委託料	3,516	0	
	深沢小学校学童保育施設(ふかさわ子どもの家)に係る近隣崖面地質調査業務委託料	0	454	
	深沢小学校学童保育施設(ふかさわ子どもの家)に係る近隣崖面測量業務委託料	0	164	
	深沢小学校学童保育施設(ふかさわ子どもの家)用地地質調査業務委託料	0	357	
	深沢小学校学童保育施設(ふかさわ子どもの家)用地測量業務委託料	0	432	
	子ども会館・子どもの家放課後児童支援員派遣業務委託料(御成)	2,722	2,454	
14節	今泉小学校学童保育施設(いわせ子どもの家)賃借料	996	0	
15節	西鎌倉小学校屋外トイレ移設工事請負費	20,790	0	
	大船第二子ども会館・子どもの家解体工事請負費	7,798	5,819	
19節	放課後児童健全育成事業運営費等補助金	9,487	6,731	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			6,973

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 20 児童福祉施設費

◎子育て ○子育て支援施設の整備

**公立保育所整備事業**

【 ことみらい課 】

※重点事業(事業CD:4-2-2-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て支援施設の整備

【 事業の目的 】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。

効果 公立保育所の効率的な運用を行うとともに、待機児童対策に取り組む。

【 事業の内容 】

- ・ 建替え等が必要な公立保育所の整備に取り組んだ。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、(仮称)由比ガ浜子どもセンター建設地理蔵文化財調査を行った。
- ・ (仮称)由比ガ浜子どもセンター建設工事に係る経費については、継続費年割分の残額を、翌年度へ逐次繰越した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
967,267	1,058,725	335,051	723,026	648
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				
			当初予算額	支出済額
13節	(仮称)由比ガ浜子どもセンター建設地理蔵文化財調査委託料 (前年度からの繰越明許費)		0	90,810
	(仮称)由比ガ浜子どもセンター建設工事監理業務委託料 (継続事業・28年度分)		18,266	0
15節	(仮称)由比ガ浜子どもセンター建設工事請負費 (継続事業・28年度分)		949,001	244,241
<b>&lt;主な特定財源&gt;</b>				
	・国県支出金			1,600
	・地方債			183,300



(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 20 児童福祉施設費

◎子育て ○子育て支援施設の整備

子育て支援施設等整備事業

【 こどもみらい課 】

※重点事業(事業CD:4-2-2-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て支援施設の整備

【 事業の目的 】

対象 子育て家庭等

意図 複合施設として「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つの機能を導入することにより、相乗効果を創出し、相互の機能を高めるため。

効果 子育て環境のより一層の充実を図ることができるとともに、市民活動の場を拡充することにより、多世代の幅広い交流を通じ、多様化する子育て支援への対応をすることができる。

【 事業の内容 】

- ・前年度からの繰越明許費により、平成27年3月に策定した「岡本二丁目用地活用基本計画」に、総合的な視点を加味し、計画の熟度を高め、施設整備の早期実現を図るため、「岡本二丁目用地施設整備基本計画」の業務委託を行った。
- ・「岡本二丁目用地施設整備基本計画」の検討を進める中で、隣接地との土地境界を改めて確認する必要があると判明したことから、平成28年度中の設計業務への着手が困難となったため、実施を見送った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
44,781	9,882	6,934		2,948
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節 岡本二丁目用地施設整備基本計画等策定業務委託料 (前年度からの繰越明許費)			0	6,934
13節 岡本二丁目用地施設設計業務委託料			44,781	0

(款) 15 民生費 (項) 15 生活保護費 (目) 5 生活保護総務費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

生活保護事務

生活福祉課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 生活に困窮した市民等

意図 困窮の程度に応じて必要な保護を行うため。

効果 最低限の生活を保障するとともに、自立を助長する。

【 事業の内容 】

- ・ 病気その他さまざまな理由により収入がなくなり、毎日の生活を維持していくことが困難になった場合に、最低限の生活を保障する生活保護の事務経費を執行した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,991	7,041	6,580		461
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				
			当初予算額	支出済額
1節	嘱託医報酬(一般・精神科) 2人		1,606	1,606
	就労支援員報酬 1人		1,020	960
9節	就労支援員費用弁償		120	42
11節	消耗品費		125	111
12節	電信料		68	67
	一般診療等審査手数料		1,205	1,228
13節	レセプト点検事業委託料		294	276
	保護費封入委託料		259	110
	住宅片付事業委託料		146	97
	生活保護等版レセプト管理システム保守委託料		266	252
	生活保護システム改修委託料		1,882	1,831
<b>&lt;主な特定財源&gt;</b>				
	・ 国県支出金			2,053

(款) 15 民生費 (項) 15 生活保護費 (目) 5 生活保護総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

健康福祉部のうち福祉総務課・生活福祉課(保護担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	71,937	74,255
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 11人	34,175	32,765
・ 3節 職員手当等	25,520	29,713
扶養手当	168	719
地域手当	5,153	5,023
通勤手当	1,418	1,226
超過勤務手当	2,759	6,107
特殊勤務手当	389	334
期末勤勉手当	13,936	14,030
住居手当	1,697	1,914
児童手当	0	360
・ 4節 共済費	12,242	11,777
市町村職員共済組合負担金		

(款) 15 民生費 (項) 15 生活保護費 (目) 10 扶助費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**扶助事業** 【 生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 生活に困窮した市民等

意図 困窮の程度に応じて必要な保護を行うため。

効果 最低限の生活を保障するとともに、自立を助長する。

【 事業の内容 】

- ・ 病気その他さまざまな理由により収入がなくなり、毎日の生活を維持していくことが困難になった場合に、最低限の生活を保障する生活保護費の支給を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,050,000	2,000,000	1,894,043		105,957

<支出内訳>			当初予算額	支出済額
20節	生活扶助費	延 9,838 人	600,000	580,112
	医療扶助費	延 8,641 人	1,000,000	905,021
	教育扶助費	延 316 人	3,300	3,376
	住宅扶助費	延 9,613 世帯	389,000	346,797
	生業扶助費	延 104 人	3,300	2,159
	出産扶助費	延 0 人	1,000	0
	葬祭扶助費	延 18 人	4,000	4,352
	施設事務費	延 36 人	6,600	5,669
	介護扶助費	延 2,244 人	42,500	46,276
	就労自立給付金	延 4 人	300	281

保護率の状況(平成29年3月31日現在)

区 分	総 人 口	保 護 人 員	保 護 率
鎌 倉 市	172,352人	945人	0.55%
神 奈 川 県	9,144,183人	157,318人	1.72%

<主な特定財源>

・ 国県支出金 1,610,107

(款) 15 民生費 (項) 20 災害救助費 (目) 5 災害救助費

◎防災・安全 ○地震対策・風水害対策の充実

**災害救助事業**

【 福祉総務課・生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち  
分野 防災・安全  
施策の方針 地震対策・風水害対策の充実

【 事業の目的 】

対象 被害を受けた、または、被害を受けるおそれのある市民

意図 対象者に対して、災害援護を行うため。

効果 対象者の生活が保障される。

【 事業の内容 】

- ・火災等により被害を受けた方に対して、見舞金を支給した。
- ・異常な自然現象により被害を受けた方に対して、生活の立て直しに資するため、災害援護資金の貸付けを行う制度があるが、平成28年度は該当者がいなかったため、貸付けは行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,026	1,026	603		423
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	避難所借用謝礼		6	0
11節	風水害避難所開設用消耗品費		10	3
19節	小災害見舞金		500	70
	小災害弔慰金		500	0
20節	生活支援等助成金		0	530
21節	災害援護資金貸付金		10	0

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費  
 ◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

**医療・保健関係団体支援事業** 【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 補助団体等

意図 補助団体等の活動促進のため。

効果 市民の健康衛生の水準を向上させる。

【 事業の内容 】

・市民への健康啓発等を行っている団体の運営を推進するために補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,340	7,340	7,065		275
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
19節	地域医療センター維持管理費負担金	1,686	1,411	
	神奈川県公衆衛生協会鎌倉支部運営費等負担金	80	80	
	鎌倉市医師会運営費補助金	2,534	2,534	
	鎌倉市衛生協議会運営費補助金	1,530	1,530	
	鎌倉市歯科医師会運営費補助金	1,272	1,272	
	鎌倉市薬剤師会運営費補助金	78	78	
	鎌倉助産師会運営費補助金	71	71	
	鎌倉食品衛生協会運営費補助金	58	58	
	鎌倉逗葉鍼灸マッサージ師会運営費補助金	31	31	

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

産科診療所支援事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民一人ひとりの保健衛生知識の啓発を図るとともに、補助団体等の活動促進のため。

効果 市民の健康衛生の水準を向上させる。

【 事業の内容 】

- ・産科医師等に分娩手当を支給している医療機関に対し補助金を交付した。
- ・出産環境を改善するために、鎌倉市医師会立産科診療所の運営事業を支援した。
- ・財政支援をすることから、鎌倉市医師会立産科診療所の運営内容について透明性を確保するため、鎌倉市医師会が運営する市民、学識経験者を交えた運営協議会の開催について協力・支援した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
93,946	126,975	114,565		12,410
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
13節 はじめまして赤ちゃん広場事業委託料			246	246
19節 産科診療所運営費補助金			93,000	113,736
産科医師等分娩手当補助金			700	583
<主な特定財源>				
・国県支出金				583

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

**保健衛生運営事業**

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民一人ひとりの保健衛生知識の啓発を図るため。

効果 市民の健康衛生の水準を向上させる。

【 事業の内容 】

- ・市民の健康づくりの指針・行動計画となる健康づくり計画を推進し、市民の健康寿命の延伸を図った。
- ・日本赤十字血液センターが街頭等で実施する献血事業に対して、献血者への謝礼を配布した。あわせてホームページや広報かまぐら等の活用、市内事業所や町内会、ライオンズクラブ等との連携を通じて献血への参加を呼びかけた。
- ・命の大切さ、自分や周りの人の命に関する意識を高めた。
- ・保健事業及び健康づくり事業等の中で、自殺に関する基本的な知識の周知啓発を図った。
- ・自殺につながる様々な問題の相談窓口の周知を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,861	3,828	3,060		768
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				
			当初予算額	支出済額
1節	健康増進計画推進委員会委員報酬 15人		456	306
8節	健康増進計画推進事業等報償費		390	200
	献血協力者報償費		130	130
11節	地域自殺対策啓発用等消耗品費		389	296
	印刷製本費		69	59
12節	救急医療及び健診等保険料		885	884
13節	健康づくりマップ作成委託料		700	448
	衛生時報保存版作成委託料		492	492
	衛生時報保存版配布委託料		250	245
22節	予防接種事故等賠償金		100	0
<b>&lt;主な特定財源&gt;</b>				
	・国県支出金			68



(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

**救急医療対策事業**

市民健康課

※重点事業(事業CD:4-1-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の急病などに対応するため。

効果 休日・夜間の急病に迅速な対応を行う。

【 事業の内容 】

- ・ 休日、夜間に地域医療センターで小児科を含む内科系の疾患に対し急患診療を行った。また、ゴールデンウィーク及び年末年始に小児科医師を配置し、二科体制での診療を行い、休日等にも小児患者への対応の充実を図った。
- ・ 緊急の入院や手術が必要な患者に対し、医療体制整備を委託し、休日、夜間、土曜に内科・外科の診療を行った。
- ・ 市民からの医療機関の問い合わせに対し、医療機関案内を行った。毎夜間(23時～翌朝9時)、土曜日(12時～18時)については、音声自動応答により救急医療機関の案内を行った。
- ・ 休日昼間に歯科の疾患に対し歯科急患診療を行った。
- ・ 県内の救急医療機関において、医療費の負担能力に欠ける外国籍市民が救急医療を受けたことより発生する損失医療費について、補助金の申請はなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
150,888	150,888	150,480		408
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	光熱水費		6	4
12節	電信料		102	90
	外国籍市民救急医療対策費レセプト審査手数料		1	0
13節	休日夜間急患診療所業務委託料		50,641	50,250
	休日急患歯科診療所業務委託料		11,146	11,146
	病院群輪番制業務等委託料		79,968	79,968
	単独医療機関制業務委託料		8,502	8,502
	救急電話音声自動対応業務委託料		259	259
14節	休日急患歯科診療所設備賃借料		261	261
19節	外国籍市民救急医療対策費補助金		2	0
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			5,029

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】  
健康福祉部市民健康課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	216,407	206,193
・ 2節 給料 一般職	101,642	96,592
一般職職員 30人		
・ 3節 職員手当等	78,379	75,807
扶養手当	1,374	1,514
地域手当	15,618	14,864
通勤手当	3,018	2,468
超過勤務手当	8,346	10,381
休日給	1,621	17
管理職手当	1,102	986
特殊勤務手当	111	24
期末勤勉手当	42,452	41,028
住居手当	3,232	2,675
児童手当	1,505	1,850
・ 4節 共済費	36,386	33,794
市町村職員共済組合負担金	36,351	33,627
社会保険料	0	146
雇用保険料	35	21

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 10 予防費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

予防接種事業

市民健康課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市内在住の乳幼児等

意図 感染症の発生、まん延を予防するため。

効果 抵抗力をつけ、感染症の流行を抑え、また重症化を防止する。

【 事業の内容 】

- ・ポリオ、BCG、MR(麻しん風しん)混合、麻しん、風しん、DPT三種混合、DPT/IPV四種混合、DT二種混合、日本脳炎、インフルエンザ、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌、水痘、高齢者肺炎球菌、B型肝炎の予防接種を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
474,753	439,394	399,774		39,620

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
1節 予防接種健康被害調査委員会報酬 4人	84	54
7節 臨時的任用職員賃金	3,938	3,121
11節 消耗品費	469	414
印刷製本費	1,519	581
予防接種ワクチン医薬材料費	164,400	139,542
12節 予防接種事故賠償補償保険料	339	328
13節 予防接種業務等委託料	295,171	251,782
予防接種データ入力業務委託料	930	522
健康管理システム改修委託料	770	770
19節 予防接種健康被害救済給付等負担金	64	0
予防接種費用自己負担金補助金	7,069	2,660

予防接種ごとの接種人数

種 別	接 種 人 数	種 別	接 種 人 数
不 活 化 ポ リ オ	延 131人	イ ン フ ル エ ン ザ	延 22,415人
B C G	延 1,084人	子 宮 頸 が ん	延 8人
MR(麻しん風しん)混合	延 2,383人	ヒ ブ	延 4,264人
麻 し ん	延 0人	小 児 用 肺 炎 球 菌	延 4,294人
風 し ん	延 1人	成 人 の 風 し ん	延 58人
D P T 三 種 混 合	延 2人	成 人 の M R 混 合	延 105人
D P T / I P V 四 種 混 合	延 4,419人	水 痘	延 2,031人
D T 二 種 混 合	延 1,259人	高 齢 者 肺 炎 球 菌	延 4,608人
日 本 脳 炎	延 5,602人	B 型 肝 炎	延 1,687人
		合 計	延 54,351人

<主な特定財源>

- ・国県支出金

339

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 10 予防費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

**感染症対策事業**

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市民

意図 感染症に対する啓発と発生初期の対応を行うため。

効果 感染症の発生、まん延を予防し、発生初期に拡大を防ぐ。

【 事業の内容 】

- ・ 感染症等が発生しなかったため、県知事の指示による汚染された場所の消毒等を行わなかった。
- ・ 感染症に対する正しい知識の普及を図り、市民の感染症への正しい理解を深めるため、冊子等により啓発に努めた。
- ・ 新たな感染症(強毒型インフルエンザ等)が発生した場合に、市民へのまん延を防止し医療機関の混乱を避けるために開設する発熱外来の施設維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
916	916	289		627
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	感染症対策啓発パンフレット等消耗品費		108	0
	発熱外来光熱水費		300	289
	発熱外来換気設備等修繕料		479	0
	感染症対策事業用医薬材料費		29	0

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

成人保健事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
分野 健康福祉  
施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市民

意図 市民の健康の維持増進に向け、啓発を図るため。

効果 家族・地域など健康意識の醸成をはかり、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。また、個人及び地域で、健康づくりを継続できる環境をつくる。

【 事業の内容 】

- ・市民の健康の増進を図るため健康手帳の交付や健康教育、健康相談等を行った。
- ・若年期から自らの健康に関する意識を高め、より良い生活習慣を確立するために、本人のみならず家族ぐるみ地域ぐるみでの健康づくりの啓発、支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,637	3,637	3,166		471
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	非常勤嘱託栄養士報酬 2人		2,506	2,488
8節	健康教育講師報償費		80	60
9節	非常勤嘱託栄養士費用弁償		291	165
11節	健康手帳・文具等消耗品費		272	220
	医薬材料費		10	9
12節	腸内細菌培養検査手数料		12	7
13節	生活習慣改善プログラム委託料		379	139
	骨密度測定業務委託料		87	78
<主な特定財源>				
	・国県支出金			951

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

母子保健事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 妊産婦・乳幼児等

意図 こどもの健全育成と、子育て家族の健康増進を図るため。

効果 家庭の育児力が向上し、安心して子育てすることで、こどもが心身ともに健全に発育発達する。

【 事業の内容 】

- ・ 母子健康手帳、父子健康手帳、すくすく手帳の交付を行った。
- ・ 妊産婦健康診査補助券を交付し、妊婦健診14回、産後1か月健診1回の助成を行った。
- ・ 家庭訪問(新生児、乳児、養育支援等)、乳幼児健診、母親教室、育児講座、健康相談等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
112,475	108,909	102,109		6,800
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	母子保健指導嘱託員等報酬 35人		8,320	7,702
7節	臨時的任用職員賃金		2,678	2,544
8節	両親教室・育児講座講師等報償費		276	274
	妊産婦・新生児等訪問指導報償費		4,194	4,174
9節	母子保健指導嘱託員費用弁償		561	422
11節	母子健康手帳等消耗品費		972	922
	すくすく手帳・妊産婦健康診査補助券等印刷製本費		939	736
	維持修繕料		26	13
	医薬材料費		59	59
12節	計量器検査手数料		15	14
	医師賠償責任保険料		222	221
13節	妊産婦健診等委託料		57,579	50,564
	乳児健診(4か月児、お誕生日前)委託料		19,103	16,500
	幼児健診等委託料		11,116	10,729
	助産師派遣委託料		2,155	2,155
	健康診査等滅菌配送業務委託料		370	269
	親子ふれあいセミナー委託料		200	176
	保健師派遣業務委託料(育休代替任期付職員代替職員)		0	2,170
14節	健診会場使用料		100	8
19節	妊産婦健診補助金		3,330	2,278
	乳児健診補助金		260	179

妊産婦健康診査

区分	受診者数		区分	受診者数	
	指定医療機関内	指定医療機関外		指定医療機関内	指定医療機関外
1回目	1,020人	11人	9回目	938人	65人
2回目	1,008人	12人	10回目	891人	89人
3回目	1,014人	14人	11回目	848人	96人
4回目	1,008人	19人	12回目	738人	87人
5回目	1,011人	18人	13回目	579人	76人
6回目	1,007人	21人	14回目	394人	43人
7回目	981人	24人	15回目	835人	116人
8回目	954人	45人	合計	13,226人	736人

乳児健康診査

区分	受診者数
4か月児健康診査	1,064人
お誕生日前健康診査	1,044人
合計	2,108人

幼児健康診査

区分	受診者数
1歳6か月児健康診査	1,131人
2歳児歯科健康診査	938人
3歳児健康診査	1,229人
合計	3,298人

乳幼児精密健康診査

区分	受診者数
1歳6か月児健康診査	0人
3歳児健康診査	21人
合計	21人

<主な特定財源>

・国県支出金

5,801

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

高齢者保健事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 65歳以上の高齢者(機能訓練については、40歳以上)

意図 高齢者の介護予防や健康増進を図るため。

効果 健康に対する意識を高め、生きがいのある生活を送ることができる。

【 事業の内容 】

- ・健康教育(健康づくり、介護予防など)、健康相談(生活習慣改善、栄養、介護予防など)を実施した。
- ・関節疾患等の方(40歳以上)の機能維持・社会参加を目指し、機能訓練(日常生活や基本動作の訓練等)を実施した。
- ・後期高齢者医療保険の保険証受給者及び生活保護受給者に対し、後期高齢者健診及び生活保護受給者健診を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
113,261	115,383	112,649		2,734

<支出内訳>

		当初予算額	支出済額
1節	非常勤嘱託保健師報酬 5人	5,664	5,475
	機能訓練嘱託員報酬 1人	306	172
8節	健康講座講師等報償費	400	289
9節	非常勤嘱託保健師等費用弁償	22	18
11節	消耗品費	79	76
	印刷製本費	197	157
	医薬材料費	37	36
12節	機能訓練教室指導手数料	50	50
13節	後期高齢者健診委託料	104,868	105,333
	生活保護受給者健診委託料	1,573	1,033
	訪問歯科検診委託料	52	0
14節	機能訓練教室プール使用料	13	10

後期高齢者健診(早期移行者・生活保護受給者健診を含む)

受診者数	異常なし			
	異常なし	要指導	要指導+要医療	要医療
10,094人	2,105人	5,112人	1,703人	1,174人

\* 健診結果には治療中の疾患は含まない。

機能訓練教室

実施回数	参加者実数	参加者延数
35回	14人	延 183人



<主な特定財源>

・国県支出金

1,176

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

**成人健康診査事業**

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 健診対象年齢に達した市民

意図 生活習慣病の予防と重症化の防止、結核の早期発見・治療のため。

効果 市民1人ひとりが自分の健康状態に留意し、健康を害する生活習慣を改善し、医療費の抑制につなげる。結核を予防し、まん延を防ぐ。

【 事業の内容 】

- ・ 肺の直接X線撮影を実施した。(16歳～39歳)
- ・ 若年期からの生活習慣病予防のため、20歳代～30歳代の方を対象にキット健診を実施した。(偶数年齢で隔年実施)
- ・ 40歳の方に無料で肝炎検診を実施した。(無料クーポン券検診)
- ・ 40歳以上で今まで鎌倉市の肝炎検診を受診していない希望者(無料クーポン券検診に該当しない方)に肝炎検診を実施した。
- ・ 20歳～36歳の方に4歳刻みで、40歳～70歳の方に10歳刻みで歯周疾患検診を実施した。(問診、口腔内検査)

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額		
11,530	11,530	7,104		4,426		
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>						
			当初予算額	支出済額		
11節 消耗品費			9	8		
印刷製本費			61	53		
13節 無料クーポン券肝炎検診委託料			4,128	2,752		
結核検診委託料			2,499	1,567		
歯周疾患検診委託料			1,666	1,306		
キット健診委託料			2,594	1,212		
肝炎検診委託料			573	206		
<b>無料クーポン券 肝炎検診</b>						
区 分	受診者数	異常なし	HBS抗原陽性	C型肝炎ウイルスの可能性が高い		
C型	440人	440人	-	0人		
B型	440人	440人	0人	-		
<b>結核検診</b>						
区 分	受診者数	要精検者数	要医療	異常なし	他疾患	未受診
胸部X線直接撮影	260人	3人	0人	0人	0人	3人

歯周疾患検診(20、24、28、32、36、40、50、60、70歳)※国保加入者含む。

区 分	受診者数	異常なし			要 観 察		要 医 療	
		異常なし	要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療		
口 腔 内 検 査	270人	45人	40人	40人	185人			

キット健診(20歳代、30歳代)※国保加入者含む。

区 分	受診者数	基準値			要 医 療		判定不可	
		基準値	軽度異常値	高度異常値	要 医 療	判定不可		
血 液 検 査	634人	109人	133人	264人	98人	30人		

肝炎検診

区 分	受診者数	異常なし	HBS抗原陽性	C型肝炎ウイルス の可能性が高い
C 型	39人	39人	-	0人
B 型	39人	39人	0人	-

<主な特定財源>

・国県支出金

3,955

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

**がん検診事業**

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 検診対象年齢に達した市民

意図 がん等の早期発見・治療のため。

効果 がん等の早期発見、早期治療により市民の健康維持に努めるとともに、医療費の抑制につなげる。

【 事業の内容 】

- ・大腸がん、肺がん(40歳以上)、胃がんリスク検診(40歳以上)、子宮頸がん(20歳以上偶数年齢の女性)、乳がん(視触診検診:20歳~38歳の偶数年齢の女性、乳房X線撮影と視触診検診:40歳以上偶数年齢の女性)の検診を実施した。
- ・がん検診推進事業として、子宮頸がん(20歳)、乳がん(40歳)の検診を無料で実施した。(無料クーポン券検診)

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
382,509	354,597	310,806		43,791

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
7節 臨時的任用職員賃金	1,575	1,180
11節 消耗品費	41	37
印刷製本費	1,365	1,096
12節 がん精密検査受診結果文書作成手数料	1,691	1,409
13節 肺がん検診委託料	140,973	123,599
大腸がん検診委託料	85,692	68,399
胃がんリスク検診等委託料	43,213	31,019
子宮頸がん検診委託料	49,608	40,693
乳がん個別検診委託料	37,804	27,610
乳がん集団検診委託料	2,077	1,421
健診結果データ集約等業務委託料	7,064	5,978
健診結果データ入力業務委託料	3,331	2,718
集団検診事務一括業務委託料	1,496	1,257
無料クーポン券検診(子宮頸がん、乳がん)委託料	4,555	2,634
無料クーポン券検診発送業務委託料	1,802	1,690
無料クーポン券検診結果データ集約等業務委託料	222	66

大腸がん検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
便	潜血検査	19,478人	1,564人	37人

肺がん検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
胸部	X線直接撮影	20,982人	420人	11人

胃がんリスク検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
血液検査		5,574人	2,058人	22人

子宮頸がん検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
子宮頸部細胞診		4,896人	57人	1人

乳がん視触診指導

区	分	受診者数	要	受診
視触診指導		455人		29人

乳がん個別検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影+視触診		4,620人	313人	10人

乳がん集団検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影+視触診		129人	10人	1人

無料クーポン券 子宮頸がん検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
子宮頸部細胞診		23人	0人	0人

無料クーポン券 乳がん個別検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影+視触診		297人	25人	0人

無料クーポン券 乳がん集団検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影+視触診		48人	1人	0人

<主な特定財源>

- ・国県支出金

624

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

健康情報システム構築・運用事業

【

市民健康課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 健診対象年齢に達した市民

意図 市民の健診データを管理するため。

効果 健診受診者の結果データを整理し、市民各自の健康管理に寄与する。

【 事業の内容 】

- ・ 受診券発送から総合判定結果までのシステムの構築により市民の健康診査のデータ管理をし、市民の健康維持に努めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,210	21,210	20,884		326

<支出内訳>

13節 健康診査データ管理等一括業務委託料

当初予算額

支出済額

21,210

20,884

食育事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
分野 健康福祉  
施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 食を通して市民の健康の維持増進を図るため。

効果 市民の健康に対する意識が高まり、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。

【 事業の内容 】

- ・ 食育活動を推進するボランティアを育成するとともに、既に活動している団体と連携を図りながら地域での食育を推進した。
- ・ 「食」に関して、広く情報提供を行い市民への啓発を図った。
- ・ 第2期鎌倉食育推進計画の評価に伴い、食育アンケートを実施した。
- ・ 市民、生産者・流通業者、関連団体等が交流する場を提供し、全市民的な食育の推進に努めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
990	990	521		469
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
1節	鎌倉市食育推進会議委員報酬 11人		336	120
8節	かまくら食育カレッジ講師報償費		240	60
	食育ボランティア協力者等報償費		130	93
9節	鎌倉市食育推進会議委員費用弁償		5	2
11節	消耗品費		192	168
13節	地域食育推進事業委託料		87	78

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 5 清掃総務費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

**環境運営事業**

【環境政策課・ごみ減量対策課・環境施設課】

【総合計画上の位置づけ】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物処理施設を中長期的に整備し、3R事業を総合的かつ計画的に推進することにより、快適な生活環境の創造と循環型社会の形成を目指すため。

効果 安定的な一般廃棄物の処理と、3R事業を推進することにより、循環型社会が形成される。

【事業の内容】

- ・一般廃棄物処理施設の建設の財源に充てるための基金を積み立てた。
- ・清掃事業及び環境衛生等に関する一般事務費及び関係団体への負担金を支出した。
- ・一般廃棄物処理施設等に関する諮問機関である生活環境整備審議会において、効率的、効果的で環境への負荷の少ない安全な施設整備に向けた調査、審議を行った。
- ・廃棄物の減量・資源化に関する諮問機関である廃棄物減量化及び資源化推進審議会において、必要な事項についての調査、審議を行った。
- ・廃棄物減量化等推進員を対象にした会合等を実施した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
232,444	207,444	188,027		19,417
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 2人		2,058	2,056
	廃棄物減量化及び資源化推進審議会委員報酬 9人		552	432
	生活環境整備審議会委員報酬 6人		186	42
8節	廃棄物減量化等推進員謝礼		1,150	1,025
9節	事務補助嘱託員費用弁償		202	80
	廃棄物減量化及び資源化推進審議会委員費用弁償		29	14
	生活環境整備審議会委員費用弁償		2	1
11節	消耗品費		212	212
19節	全国都市清掃会議等負担金		171	171
25節	一般廃棄物処理施設建設基金新規積立金		224,818	183,252
	一般廃棄物処理施設建設基金利子積立金		500	368
	一般廃棄物処理施設建設基金寄附積立金		2,564	374



(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 5 清掃総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

環境部のうち環境政策課(環境総務担当)・ごみ減量対策課・環境施設課・環境センター

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	1,200,447	1,151,371
・ 2節 給料 一般職	532,910	524,994
一般職職員 129人		
再任用(短時間) 5人		
・ 3節 職員手当等	455,383	430,967
扶養手当	20,450	18,931
地域手当	84,424	83,001
通勤手当	15,024	14,404
超過勤務手当	40,392	32,758
休日給	42,118	36,920
管理職手当	9,391	9,359
特殊勤務手当	464	307
期末勤勉手当	220,185	215,431
住居手当	16,210	14,711
児童手当	6,725	5,145
・ 4節 共済費	212,154	195,410
市町村職員共済組合負担金	209,957	193,777
社会保険料	1,137	574
雇用保険料	1,060	1,059

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

**名越クリーンセンター管理運営事業**

【 環境施設課・環境センター 】

※重点事業(事業CD:3-3-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・名越クリーンセンターの光熱水費、維持修繕料等の管理運営に係る事務を行った。
- ・市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための焼却施設、粗大ごみ処理施設の運転及び維持管理を行った。
- ・前年度からの繰越明許費による、持込みごみ受け入れ施設設置工事については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
419,135	486,641	366,562	86,238	33,841
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
7節	臨時的任用職員賃金	1,281	1,160	
11節	薬剤等消耗品費	45,023	44,432	
	施設燃料費	4,844	3,075	
	電気料	84,768	67,209	
	水道料等	47,139	32,827	
	1号炉焼却設備等修繕料	44,388	30,240	
	破碎機補修修繕料	17,874	15,768	
	クレーン補修修繕料	13,824	13,824	
	金属圧縮機油圧ユニット修繕料	8,424	8,046	
	空気圧縮機修繕料	8,149	8,095	
	排ガス分析計修繕料	2,216	2,216	
	その他修繕料	6,000	5,188	
	医薬材料費	30	30	
12節	電信料	594	473	
	電気工作物定期点検手数料	795	795	
	ダイオキシン類調査手数料	665	483	
	ごみ質検査手数料	648	499	
	分析計測業務等手数料	1,156	958	
13節	警備業務(車両誘導)委託料	1,307	2,478	
	焼却施設維持管理業務委託料	116,640	116,640	
	環境調査業務委託料	3,038	2,958	
	定期機能検査業務委託料	1,083	497	
	作業環境調査業務委託料	837	321	
	クレーン点検業務委託料	860	850	
	警備業務委託料	463	463	

	洗車排水汚水槽清掃業務委託料	411	411
	冷暖房機器点検業務委託料	318	318
	清掃業務委託料	262	178
	受水槽清掃点検業務委託料	101	81
	不快害虫駆除業務等委託料	99	464
14節	用地借料	2,999	2,999
	コピー機賃借料等	312	222
15節	持込みごみ受け入れ施設設置工事請負費(前年度からの繰越明許費、翌年度への事故繰越)	0	0
16節	施設補修用原材料費	760	671
18節	蓄圧式粉末消火器等備品購入費	562	507
27節	汚染負荷量賦課金	1,265	1,186

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

**今泉クリーンセンター管理運営事業**

【 環境施設課・環境センター 】

※重点事業(事業CD:3-3-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
 分野 生活環境  
 施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・今泉クリーンセンターの光熱水費、維持修繕料等の管理運営に係る事務を行った。
- ・市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための粗大ごみ処理施設、中継施設等の運転及び維持管理を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、今泉クリーンセンターのごみ焼却設備の解体を行った。
- ・今泉クリーンセンターの煙突解体に向けた調査等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
71,288	307,565	302,903		4,662
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	施設維持等消耗品費		5,400	5,398
	施設燃料費		1,522	1,196
	電気料		16,343	9,492
	水道料		1,094	908
	クレーン補修修繕料		15,844	15,130
	その他修繕料		3,300	4,001
	備品修繕料		6	0
	医薬材料費		22	22
12節	電信料		430	387
	水質検査手数料		564	430
	自家用電気工作物定期点検等手数料		497	497
13節	煙突解体工事発注支援業務委託料		8,715	3,218
	煙突解体前周辺環境調査業務委託料		3,000	1,348
	脱臭設備等保守点検業務委託料		6,156	4,396
	クレーン年次点検業務委託料		767	767
	排水処理施設各槽清掃業務委託料		473	468
	警備業務委託料		463	463
	作業環境調査業務委託料		311	52
	ボイラー清掃点検委託料		184	184
	清掃業務委託料		132	106
	重油地下タンク点検業務等委託料		328	1,084
14節	トラックスケール賃借料		4,591	4,590
	コピー機賃借料等		254	206
15節	焼却設備解体工事請負費(前年度からの繰越明許費)		0	248,080
16節	施設補修用原材料費		540	160



(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費  
 ◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

名越クリーンセンター収集事業

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
 分野 生活環境  
 施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉、腰越及び深沢(一部を除く)地域のごみの収集・運搬作業を行った。
- ・ ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。
- ・ 清掃車両の整備及び管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,521	14,021	12,724		1,297
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	収集作業用等消耗品費		1,132	1,132
	収集車両等燃料費		5,482	2,995
	印刷製本費		101	98
	事務所小破修繕料		57	0
	備品修繕料		4	0
	収集車両修繕料		8,040	7,901
16節	作業用原材料費		145	144
27節	自動車重量税		560	454

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

今泉クリーンセンター収集事業

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 大船、玉縄及び深沢地域の一部のごみの収集・運搬作業を行った。
- ・ ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。
- ・ 清掃車両の整備及び管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,900	12,900	11,735		1,165
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	計量機嘱託員報酬 4人		4,113	4,113
7節	臨時的任用職員賃金		1,261	661
9節	計量機嘱託員費用弁償		461	442
11節	収集作業用等消耗品費		747	747
	収集車両等燃料費		1,967	1,493
	印刷製本費		102	101
	事務所小破修繕料		5	0
	備品修繕料		5	0
	収集車両修繕料		3,582	3,549
12節	自賠償保険料		35	35
18節	原動機付自転車購入費		366	339
27節	自動車重量税		256	255

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費  
 ◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

**ごみ収集事業**

【 ごみ減量対策課 】

※重点事業(事業CD:3-3-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
 分野 生活環境  
 施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・資源物やごみについて収集・運搬を民間委託により実施した。
- ・家庭系ごみの有料化によりごみの減量を推進した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
654,519	646,519	631,149		15,370
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 4人		4,113	4,113
7節	臨時的任用職員賃金		559	0
9節	事務補助嘱託員費用弁償		600	261
11節	消耗品費		386	360
12節	郵便料		595	0
	運搬料		0	548
13節	カン・ビン収集及びコンテナ配布業務委託料		126,405	126,405
	燃やすごみ・ペットボトル収集運搬業務委託料		216,590	212,205
	植木剪定材収集運搬業務委託料		50,764	51,112
	不燃ごみ収集運搬業務委託料		34,845	34,844
	容器包装プラスチック収集運搬業務委託料		75,130	75,130
	家庭系製品プラスチック収集運搬業務委託料		12,951	12,951
	一般廃棄物指定収集袋作成業務委託料		77,997	66,998
	一般廃棄物指定収集袋保管配送・受注収納業務委託料		14,208	14,207
	一般廃棄物処理手数料徴収業務委託料		30,062	25,073
	燃やすごみ組成調査業務委託料		4,698	3,453
	燃やすごみ組成調査用収集運搬業務委託料		499	499
	啓発資料作成委託料		879	583
	啓発資料配布委託料		488	0
	周知看板作成委託料		1,026	565
	一般廃棄物指定収集袋封入・梱包業務委託料		0	118
14節	クリーンステーション管理システム賃借料		1,724	1,724



**最終処分事業**

【 環境施設課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
 分野 生活環境  
 施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 焼却炉から排出される焼却残さ

意図 焼却残さの適正な処分及び資源化の推進を図るため。

効果 最終処分場周辺の環境を保全し、焼却残さの資源化を図ることにより、循環型社会が形成される。

【 事業の内容 】

- ・ 焼却残さ全量を熔融固化し、路盤材等に加工することによって資源化を推進した。
- ・ 最終処分場周辺の環境を保全し、適切な維持管理を行った。
- ・ 最終処分場の廃止に向けた調査等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
231,426	188,426	182,396		6,030
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	最終処分場地下水水質検査協力謝礼		48	48
9節	普通旅費		77	68
11節	消耗品費		83	80
	燃料費		8	2
	光熱水費		108	70
	最終処分場集水設備等維持修繕料		487	54
12節	最終処分場精密水質・ダイオキシン類検査業務手数料		1,728	778
	最終処分場定期水質検査業務手数料		423	223
13節	焼却残さ熔融固化処理業務委託料		194,592	148,866
	ごみ焼却残さ中の金属等の測定業務委託料		248	184
	最終処分場保有水等運搬処理委託料		999	463
	最終処分場観測井戸水運搬委託料		280	266
	最終処分場ガス等計測業務委託料		1,566	790
	最終処分場土壌調査委託料		58	39
16節	最終処分場原材料費		52	0
19節	環境保全協力金		639	436
22節	最終処分場用地等営農損失補償金		30,030	30,029

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

**新焼却施設整備事業**

【 環境施設課 】

※重点事業(事業CD:3-3-1-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 処理施設の整備を行うため。

効果 一般廃棄物の適正処理が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 高効率発電によるエネルギー回収を基本とした新焼却炉の建設に係る支援業務を実施した。
- ・ ごみ焼却施設の先進都市の視察を実施し、今後の新焼却炉の建設準備に資した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,526	5,368	692		4,676

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
9節 焼却施設視察旅費	261	195
13節 新焼却施設建設に係る支援業務委託料	28,159	497
14節 焼却施設視察車両使用料	106	0

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

ごみ処理広域化計画推進事業

【 環境施設課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 名越・今泉クリーンセンター等

意図 処理施設の整備及び適正管理を図るため。

効果 一般廃棄物の適正処理が図られる。

【 事業の内容 】

・今後のごみ処理体制の検討を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
103	103	1		102

<支出内訳>

11節 鎌倉市・逗子市ごみ処理広域化検討協議会消耗品費

当初予算額	支出済額
103	1

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

【 笹田リサイクルセンター管理運営事業 】

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 資源の有効活用を図り、廃棄物の再使用、再生利用に関する啓発及び推進を図るため。

効果 ごみの排出抑制、資源の再使用、再生利用が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 廃棄物の減量・資源化に関する啓発事業を実施するとともに、笹田リサイクルセンターの保守管理及び維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
158,374	156,204	152,117		4,087
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	資源物収集コンテナ等消耗品費		3,590	3,590
	燃料費		80	58
	電気料		8,965	7,206
	都市ガス料		6,073	3,470
	水道料		2,042	2,165
	コンテナ搬送選別装置修繕料		9,420	8,386
	吸収冷温水機分解整備修繕料		6,696	5,400
	紙圧縮梱包機修繕料		4,567	4,206
	中央監視盤修繕料		3,780	3,564
	金属圧縮機修繕料		3,338	3,270
	コンテナ洗浄装置修繕料		2,896	2,700
	自動選別装置修繕料		2,868	2,868
	冷却塔ブロー装置交換修繕料		1,080	646
	その他修繕料		2,700	6,214
	車両修繕料		2,372	2,640
	医薬材料費		5	5
12節	電信料		192	148
	エレベーター定期点検等手数料		1,206	1,205
13節	資源物選別処理等業務委託料		51,840	51,840
	運転保守管理等業務委託料		27,216	27,216
	選別設備保守点検業務委託料		4,104	4,104
	再生利用施設啓発業務委託料		3,700	3,700
	清掃業務委託料		2,551	1,565
	空気調和設備保守点検業務委託料		2,360	1,944
	脱臭設備等保守点検業務委託料		1,534	1,240
	自動倉庫保守点検業務委託料		832	832
	植栽管理業務委託料		599	599
	作業環境調査委託料		577	131

	警備業務委託料	463	463
	屋上植栽管理業務委託料	311	297
	複写機保守点検業務等委託料	240	268
14節	AED等賃借料	127	127
16節	選別棟維持管理部材用原材料費	50	50

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業費 】

【 事業内容 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
 分野 生活環境  
 施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 廃棄物を適正に処理し、循環型社会の形成を目指すため。

効果 ごみの発生抑制及び減量・資源化が図られることにより、循環型社会が形成される。

【 事業の内容 】

- ・資源物やごみを品目別に分別し資源化を推進した。
- ・今泉クリーンセンターに配備した自走式コンベアごみ投入検査機により搬入物検査を実施するとともに、新たに事業系ごみの普及啓発補助員を雇用し、事業者訪問等による適正排出の指導を行うことで分別徹底を図った。
- ・市民及び事業者から排出された植木剪定材を、委託業者の中間処理施設まで運搬し、委託業者の堆肥化事業場において堆肥化し、生成した堆肥を市民及び農家に配布した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
675,133	810,851	776,859		33,992
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	廃棄物検査・指導員報酬 4人		8,064	8,064
	事務補助嘱託員報酬 1人		1,029	1,028
	普及啓発補助員報酬 9人		5,462	5,044
8節	植木剪定材堆肥化事業指導協力者報奨金		2,084	1,964
9節	廃棄物検査・指導員費用弁償		1,048	826
	事務補助嘱託員費用弁償		150	70
	普及啓発補助員費用弁償		1,114	758
	普通旅費		96	81
11節	ごみ散乱防止ネット等消耗品費		1,415	1,398
	燃料費		148	55
	印刷製本費		1,304	1,253
	植木剪定材受入事業場維持修繕料		2,448	1,188
	植木剪定材受入事業場囲い養生パネル修繕料		0	2,830
	植木剪定材堆肥配布保管所等修繕料		0	856
	坂ノ下積替所維持修繕料		514	0
	自走式コンベアごみ投入検査機等維持修繕料		146	38
12節	電信料		334	100
	坂ノ下積替所トラックスケール定期検査料		292	292
13節	容器包装プラスチック中間処理業務委託料		112,763	109,861
	容器包装プラスチック等再商品化業務委託料		2,019	2,080
	ペットボトル中間処理業務委託料		27,621	26,710
	植木剪定材堆肥化等業務委託料		150,009	152,047
	紙類・布類収集運搬処理売却業務委託料		181,179	181,179
	不燃ごみ資源化処理業務委託料(名越)		41,898	37,844

鉄屑類等運搬売却業務委託料(今泉)	13,952	12,253
不燃ごみ資源化処理業務委託料(不燃残渣溶融固化処理)	32,011	22,954
ビニール袋残渣RPF化業務委託料	0	3,507
鉄屑類等運搬売却業務委託料(名越)	2,996	2,634
廃乾電池及び廃蛍光管資源化処理業務委託料	5,816	4,662
木くず資源化処理業務委託料	12,928	10,937
布団運搬資源化処理業務委託料	4,039	3,332
畳運搬資源化処理業務委託料	4,493	2,478
粗大ごみ処理手数料収納等事務委託料	1,582	1,685
フロンガス破壊処理業務委託料	60	60
自走式コンベアごみ投入検査機保守管理業務委託料	438	438
一般廃棄物(可燃ごみ)搬送業務委託料	50,976	44,106
一般廃棄物焼却処理等業務委託料	0	130,081
使用済小型電気機器資源化業務委託料	1,682	0
坂ノ下仮設トイレ運搬処分業務委託料	0	38
行政ネットワーク追加業務委託料	750	270
物品移転業務委託料	124	0
14節 不燃ごみ等搬出用トラックスケール賃借料	695	691
車両賃借料	1,034	812
電子複写機等賃借料	359	344
19節 粗大ごみシールJANコード更新申請料	11	11
22節 休車補償料	50	0

【ごみの焼却量】

(単位:t)

年度	区分	家庭系	事業系	合計
28		25,053	11,331	36,384
27		23,432	11,450	34,882
26		25,823	11,461	37,284

【主な資源物の処理量】

(単位:t)

年度	区分	飲食用 カン・ビン	ミックスペーパー・ 紙パック	容器包装 プラスチック	ペットボトル	植木 剪定材	新聞・雑誌・ 段ボール・布類	合計
28		1,985	2,222	2,501	504	11,590	7,998	26,800
27		2,023	2,445	2,501	505	10,989	8,163	26,626
26		2,079	2,436	2,188	503	10,897	8,456	26,559

**3R推進事業**

【  ごみ減量対策課  】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【  事業の目的  】

対象 市民等

意図 3R事業を推進し、循環型社会の形成を目指すため。

効果 ごみの発生抑制及び減量・資源化が図られることにより、循環型社会が形成される。

【  事業の内容  】

- ・ごみの発生抑制及び減量・資源化に協力する自治会・町内会に対して、3R推進事業奨励金を交付した。
- ・一般家庭向けの啓発事業として、ごみ減量通信の発行、説明会の開催、環境教育、ごみダイエツト展、キャンペーン等を実施した。
- ・事業所向けの啓発事業として、説明会の実施、パンフレツトの配布、訪問指導等を行った。
- ・事業所及び地域に設置した大型生ごみ処理機により、生ごみの減量・資源化を図った。
- ・家庭用生ごみ処理機に係る助成制度と直販制度を実施し、各家庭における生ごみの自己処理を促すことにより、生ごみの減量・資源化を図った。

【  事業費  】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
42,506	34,506	27,115		7,391
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 2人		2,057	2,056
8節	3R推進事業奨励金		5,400	4,690
	廃棄物減量化等推進員会合等講師謝礼		100	0
9節	事務補助嘱託員費用弁償		300	47
11節	啓発用等消耗品費		1,313	643
	生ごみ処理機購入消耗品費		7,066	1,186
	印刷製本費		1,344	1,111
	光熱水費		793	782
	大型生ごみ処理機維持修繕料		720	86
13節	減量・資源化啓発業務委託料		899	813
	大型生ごみ処理機保守管理業務委託料		1,983	1,983
	ホームページ管理運營業務委託料		60	60
14節	大型生ごみ処理機賃借料		3,299	3,299
19節	不用品登録協働事業費負担金		790	790
	大型生ごみ処理機光熱水費負担金		264	142
	リユース食器利用費補助金		500	257
	生ごみ処理機購入費補助金		13,618	9,044
	事業系大型生ごみ処理機購入費等補助金		2,000	126



(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○環境汚染の防止

**ダイオキシン類削減対策施設整備事業**

【 環境施設課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
分野 生活環境  
施策の方針 環境汚染の防止

【 事業の目的 】

対象 名越・今泉クリーンセンター等

意図 処理施設の整備及び適正管理を図るため。

効果 一般廃棄物の適正処理が図られる。

【 事業の内容 】

・名越クリーンセンター周辺環境調査(大気環境調査)を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,062	1,576	1,069		507

<支出内訳>

13節 名越クリーンセンター周辺大気環境調査業務委託料

当初予算額	支出済額
2,062	1,069

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 15 し尿処理費

◎生活環境 ○環境汚染の防止

深沢クリーンセンター管理運営事業

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
分野 生活環境  
施策の方針 環境汚染の防止

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公共下水道に接続していない全ての汲取りし尿と浄化槽汚泥の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

【 事業の内容 】

・し尿及び浄化槽汚泥の処理に係る施設の運転及び維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,590	24,769	23,811		958
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	薬剤等消耗品費		2,269	2,269
	燃料費		158	75
	電気料		5,804	4,130
	水道料		2,930	2,210
	中低濃度系第2循環ポンプ取替修繕料		1,296	972
	汚泥処理棟大扉廻り外壁塗装修繕料		1,133	1,133
	その他修繕料		6,474	6,793
	備品修繕料		18	0
	車両修繕料		229	214
12節	電信料		128	105
	電気工作物定期点検等手数料		589	588
13節	脱臭設備等保守点検業務委託料		3,208	3,058
	警備業務委託料		463	396
	産業廃棄物処分業務委託料		161	161
	オーバースライダー定期点検業務等委託料		170	164
14節	NHK受信料		15	15
16節	施設維持管理用原材料費		139	122
19節	下水道負担金		1,359	1,359
27節	自動車重量税		47	47

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 15 し尿処理費

◎生活環境 ○環境汚染の防止

し尿収集事業

【 ごみ減量対策課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 環境汚染の防止

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 汲取りし尿の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

【 事業の内容 】

・し尿の収集運搬及び処理手数料の徴収事務を委託により実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,189	24,189	22,179		2,010

< 支出内訳 >

	当初予算額	支出済額
1節 事務補助嘱託員報酬 1人	1,029	1,028
9節 事務補助嘱託員費用弁償	150	43
11節 印刷製本費	100	92
13節 し尿収集運搬及び手数料徴収業務委託料	22,910	21,016

【し尿等の処理量】

(単位:kl)

年度	区分		合計
	し尿	浄化槽汚泥等	
28	955	2,566	3,521
27	1,030	2,960	3,990
26	1,185	3,021	4,206

公害等対策事業

環境保全課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
分野 生活環境  
施策の方針 環境汚染の防止

【 事業の目的 】

対象 市民及び事業者等

意図 事業活動やその他の人の活動による公害の発生を防止するため。

効果 事業所等を対象に法令等に基づく届出や立ち入り調査により未然に公害を防止し、周辺地域の環境保全を推進する。

【 事業の内容 】

- ・「騒音規制法」、「振動規制法」、「悪臭防止法」、「特定工場における公害防止組織の整備に関する法律」による届出の受理等及び改善勧告命令を行った。
- ・事業所等から発生する公害を防止するため指導や助言を行った。
- ・「鎌倉市環境の状況についての調査及び情報の提供に関する要綱」に基づく環境保全、公害防止のための調査・測定・分析を行った。
- ・深夜花火特別対策区域に警備員を配置し、巡回警備の充実を図った。
- ・生活排水による公共水域の水質汚濁を防止するため、下水道認可区域外の地域での合併処理浄化槽の設置事業を行った。
- ・「水道法」及び「小規模水道及び小規模受水槽水道に関する条例」に基づく届出受理、検査等による水道衛生対策を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,376	8,923	8,112		811
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,029	1,028
8節	講師等謝礼		10	0
9節	事務補助嘱託員費用弁償		49	14
11節	消耗品費		900	897
	環境保全啓発小冊子等印刷製本費		93	86
	備品修繕料		16	0
12節	電信料		34	31
	飲料水水質検査等手数料		335	35
13節	深夜花火防止巡回警備業務委託料		656	642
	自動車排出ガス等環境調査業務委託料		2,566	2,538
	有害大気汚染物質分析業務委託料		395	395
	河川水質調査業務委託料		499	499
	大気中二酸化窒素濃度調査試料分析業務委託料		318	318
	自動車騒音常時監視業務委託料		1,404	928
18節	振動レベル計等備品購入費		740	701
19節	合併処理浄化槽設置補助金		332	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			264

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎生活環境 ○まちの美化

**環境美化事業**

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 まちの美化

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 快適な生活環境の実現のため。

効果 散乱ごみ・不法投棄をさせないまちづくりの促進を図る。

【 事業の内容 】

・不法投棄防止の啓発や巡回業務を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
542	542	365		177
<支出内訳>				当初予算額
12節	電信料			101
	不法投棄物(家電リサイクル法適用分)処理手数料			153
13節	不法投棄物処理委託料			188
	花火大会翌日集積ごみ回収処理業務委託料			100
				支出済額
				107
				111
				47
				100

美化運動事業

環境保全課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
分野 生活環境  
施策の方針 まちの美化

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 まちの美化を進め、良好な生活環境を保全向上させるため。

効果 落書きや、吸い殻などの散乱ごみがない美しいまちの形成が推進される。

【 事業の内容 】

- ・ごみの散乱をされない環境づくりの施策を実施した。
- ・路上喫煙禁止区域を中心に屋外の公共の場所での喫煙の防止対策を実施した。
- ・市民団体とともに市内一斉清掃を年2回実施した。
- ・まち美化統一クリーンデー実施組織への奨励金の交付、まち美化推進協議会の開催、まち美化推進員によるキャンペーンを実施した。
- ・市民団体との協働により落書き防止の啓発活動、落書きの消去活動、通報、パトロール活動を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,930	6,930	6,441		489
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	まち美化推進協議会委員報酬 10人		204	184
	事務補助嘱託員報酬 1人		1,029	1,028
8節	まち美化清掃活動奨励金		1,300	1,271
	まち美化推進員等報償費		356	303
9節	事務補助嘱託員費用弁償		57	14
11節	清掃用具等消耗品費		443	439
	印刷製本費		6	3
13節	路上喫煙啓発用路面シート作成業務委託料		454	433
	喫煙場所灰皿清掃業務委託料		1,193	952
	クリーンアップごみ回収処理業務委託料		169	168
	路上喫煙防止業務委託料		1,569	1,458
	排煙防止板設置業務委託料		0	38
19節	落書きのないまちづくり事業負担金		150	150

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎生活環境 ○まちの美化

公衆トイレ清掃事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
 分野 生活環境  
 施策の方針 まちの美化

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公衆トイレの維持、清掃を通じまちの美化を推進、良好な都市環境を向上させるため。

効果 快適で清潔なトイレの実現が図られる。

【 事業の内容 】

・公衆トイレ(38箇所)の日常清掃業務等を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
56,658	56,658	47,496		9,162
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		378	368
	公衆トイレ電気料		1,695	1,126
	公衆トイレ水道料		16,201	15,006
	公衆トイレ維持修繕料		3,389	3,379
13節	公衆トイレ清掃業務委託料 38箇所		27,574	21,539
	多目的トイレ清掃業務委託料(オストメイト)		1,371	1,290
	鎌倉駅東口トイレ清掃業務委託料		3,627	2,743
	年末年始特別トイレ清掃業務委託料		229	161
	年末年始特別多目的トイレ清掃業務委託料(オストメイト)		8	6
	公衆トイレ汚水槽点検等業務委託料		497	497
	公衆トイレ浚渫土砂処分業務委託料		48	31
	鎌倉駅西口広場周辺清掃業務委託料		523	487
14節	公衆トイレ消臭器賃借料		738	611
19節	公衆トイレ電気料負担金		380	252

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎生活環境 ○次代に向けたエネルギー・環境対策の推進

**環境基本計画推進事業**

【 環境政策課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
 分野 生活環境  
 施策の方針 次代に向けたエネルギー・環境対策の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉市環境基本条例の3つの理念に基づき、鎌倉市環境基本計画を推進するため。

効果 環境共生都市の創造に向けた具体的な目標達成のために、市民・事業者・滞在者・行政が環境に関心を持ち、環境に対する責任と役割を理解し、環境保全活動に自ら取組み、その活動を広げ、社会全体に定着させる。

【 事業の内容 】

- ・「鎌倉市環境基本計画」を推進するため、鎌倉市環境審議会において、各施策の進捗状況に関する点検・評価を行い、計画に対する進行管理を図った。
- ・地域における地球温暖化対策をはじめとする環境保全施策を推進するため、環境マネジメントシステムや環境教育の推進、緑のカーテン設置など環境保全行動の普及・啓発を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,212	7,212	5,506		1,706
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,029	1,028
	環境審議会委員報酬 12人		488	328
8節	環境教育アドバイザー等講師謝礼		730	508
	かまくら環境保全推進会議委員等謝礼		316	91
9節	事務補助嘱託員等費用弁償		176	145
11節	消耗品費		292	230
	印刷製本費		207	120
13節	不要紙類回収運搬売却業務委託料		2,562	2,398
	歌碑維持管理業務委託料		1	0
	基本計画見直し支援等委託料		883	497
	ワークショップ事業委託料		324	0
	児童向け環境教育事業委託料		194	151
19節	横浜グリーン購入ネットワーク負担金		10	10



(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎生活環境 ○次代に向けたエネルギー・環境対策の推進

エネルギー計画推進事業

【 環境政策課 】

※重点事業(事業CD:3-3-4-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
分野 生活環境  
施策の方針 次代に向けたエネルギー・環境対策の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 エネルギーの効率的な利用を促進し、再生可能エネルギーの導入に取り組むエネルギー計画を推進するため。

効果 環境にやさしい再生可能エネルギーの導入や効率的な利用が図られ、将来にわたって持続可能な循環型社会が実現する。

【 事業の内容 】

- ・鎌倉市省エネルギーの推進及び再生可能エネルギー導入の促進に関する条例に基づき、鎌倉市エネルギー計画を推進した。
- ・「鎌倉市エネルギー施策推進委員会」によって、市内で連携を図りながら、効果的なエネルギー施策に対する全庁的な取り組みを推進した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,463	4,916	2,433		2,483
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節	消耗品費		298	53
	印刷製本費		47	32
	太陽光発電設備等維持修繕料		1	453
13節	急速充電器保守点検業務委託料		117	117
19節	住宅用再生可能エネルギー・省エネ機器等設置費補助金		4,000	1,778

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎生活環境 ○海浜の環境保全

海岸清掃事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 海浜の環境保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 快適な生活環境の実現のため。

効果 散乱ごみのない良好な海岸の形成が図られる。

【 事業の内容 】

・公益財団法人かながわ海岸美化財団への清掃事業費負担金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,644	15,644	15,644		0
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節 公益財団法人かながわ海岸美化財団清掃事業費負担金			15,644	15,644
<主な特定財源>				
・国県支出金				10,508

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

環境部のうち環境政策課(環境総務担当を除く)・環境保全課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	152,712	139,069
・ 2節 給料 一般職	72,392	66,541
一般職職員 16人		
再任用(短時間) 4人		
・ 3節 職員手当等	54,982	49,960
扶養手当	3,191	2,606
地域手当	11,487	10,518
通勤手当	2,461	1,852
超過勤務手当	2,354	2,995
休日給	0	129
管理職手当	987	971
特殊勤務手当	73	24
期末勤勉手当	29,911	27,478
住居手当	3,198	2,227
児童手当	1,320	1,160
・ 4節 共済費	25,338	22,568
市町村職員共済組合負担金	24,769	22,044
社会保険料	401	388
雇用保険料	168	136

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 10 環境衛生費

◎生活環境 ○環境汚染の防止

衛生・害虫駆除事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
分野 生活環境  
施策の方針 環境汚染の防止

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 感染症予防法に基づき、市民の健康で安全かつ快適な生活のため環境衛生の向上に努めるため。

効果 不快害虫等の駆除による快適な生活環境の形成が図られる。

【 事業の内容 】

・ ユスリカなど不快害虫が発生する河川、排水路等の消毒相談、ねずみ・ハチ等昆虫の駆除相談等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,152	10,346	9,914		432
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
7節	臨時的任用職員賃金	1,163	1,158	
11節	害虫駆除用薬剤等消耗品費	2,270	2,268	
	車両等燃料費	285	129	
	備品修繕料	77	75	
	車両修繕料	518	256	
13節	スズメバチの巣の駆除業務委託料	10,800	5,994	
16節	原材料費	10	5	
27節	自動車重量税	29	29	

犬の登録等事業

環境保全課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
分野 生活環境  
施策の方針 野生鳥獣等への対応

【 事業の目的 】

対象 犬・猫を所有する市民等

意図 狂犬病の発生予防、未登録犬の削減、犬、猫の適正飼育の推進のため。

効果 狂犬病予防注射接種率及び飼育者のマナー向上、未登録犬の削減を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 犬の鑑札、狂犬病予防注射済票を交付した。
- ・ 鎌倉市収納指定獣医師に、犬の鑑札、狂犬病予防注射済票の交付を委託した。
- ・ 狂犬病予防集合注射を神奈川県獣医師会と共同で実施し、接種率の向上に努めた。
- ・ 犬の登録推進について、広報かまくら等で周知するとともに、動物病院と連携し未登録犬の解消に努めた。
- ・ 猫の不妊去勢手術を勧奨し、飼い主のいない猫の増殖の防止を図った。
- ・ 飼育する犬及び猫にマイクロチップを装着することにより、盗難、迷子、災害発生時等に逸走した場合に飼い主のもとへ早期返還を図った。
- ・ 犬、猫の飼育者のマナー向上のため、広報かまくら・犬猫のフン防止プレート配布などにより啓発を行うとともに、関係団体と連携し、マナー向上のための取組を進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,719	4,595	4,396		199
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,029	1,028
7節	臨時的任用職員賃金		637	577
8節	集合注射会場協力者等謝礼		6	-0
9節	事務補助嘱託員費用弁償		70	63
11節	犬の登録事務等消耗品費		471	469
	狂犬病予防集合注射用車両燃料費		4	4
	印刷製本費		26	25
12節	狂犬病予防集合注射用車両保険料		67	37
13節	犬の登録・注射促進協力等業務委託料		889	794
	飼い猫に対する避妊・去勢手術事務委託料		49	46
	犬の登録等管理システム保守委託料		54	54
14節	狂犬病予防集合注射用車両賃借料		67	67
19節	湘南獣医師会補助金		150	150
	飼い猫に対する避妊・去勢手術補助金		600	824
	飼い主のいない猫対策事業補助金		450	200
	マイクロチップ装着事業補助金		150	58

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 10 環境衛生費

◎生活環境 ○野生鳥獣等への対応

**鳥獣保護管理対策事業**

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 野生鳥獣等への対応

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 野生鳥獣の適正な保護及び管理のため。

効果 傷病野生鳥獣の治療のための捕獲を行うとともに、有害鳥獣による被害発生予防、被害原因除去と再発防止に努める。

【 事業の内容 】

- ・野生鳥獣の保護等に関する啓発を行うとともに、傷病等野生鳥獣の捕獲及び県指定収容施設への搬送を行った。
- ・アライグマ、ハクビシン、タイワンリスなどいわゆる外来動物による生態系、生活環境等の被害の防止に係る説明・指導を行った。
- ・外来動物に係る被害の実地調査、捕獲の許可を行った。また、捕獲個体の処分業務を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,152	7,276	7,260		16
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,029	1,025
9節	事務補助嘱託員費用弁償		70	94
11節	現場作業等消耗品費		323	123
13節	有害鳥獣駆除等業務委託料		5,730	6,018
<主な特定財源>				
	・国県支出金			3,070